



**Day & Night** 屋内用スピードドームカメラ

SP-3038N

SP-3128N

## 取扱説明書




## 目次

1. 正しくお使いいただくために	P-2
2. 特長	P-3
3. 各部の名称	P-3
3-1. ドーム本体	P-4
3-2. RS-485 コネクタ部	P-4
4. カメラ本体の設定方法	P-4
4-1. カメラアドレスの設定	P-4
4-2. RS-485 プロトコルの設定	P-4
5. カメラアドレスの設定チャート	P-6
5-1. メリットプロトコル 1(MLP1)	P-6
5-2. メリットプロトコル 2(MLP2)	P-7
6. 取付分解図	P-10
7. 設置方法	P-10
7-1. 天井直付の時	P-10
7-2. 壁付の時	P-11
8. 接続例	P-13
8-1. システム 1 <スピードドーム + キーボード>	P-13
8-2. システム 2 <スピードドーム + マトリックススイッチャ + キーボード>	P-15
8-3. システム 3 <PC によるスピードドーム制御>	P-16
8-4. システム 4 <スピードドーム + DVR + キーボード>	P-17
9. 操作	P-18
9-1. マニュアル操作	P-18
9-2. プリセット	P-19
10. 設定メニュー画面一覧	P-21
11. スピードドームの設定	P-23
11-1. 言語選択	P-23
11-2. 文字表示設定	P-23
11-3. スピードドーム機能設定	P-24
11-4. スケジュール設定	P-33
11-5. システム情報の表示	P-35
11-6. カメラのリセット	P-35
11-7. システムの再起動	P-35
12. 機器仕様	P-36

# 1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください

 **警告** 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

●電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りはじめたときの対処

雷が鳴りはじめたら、すみやかに電源ケーブルをカメラ本体から抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●キャビネットは絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください


●機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでてい、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、すみやかに電源ケーブルをカメラ本体から抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●改造は絶対にしないでください。

このカメラを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。

 **警告** 人が障害を負ったり、財産が損害を受けたりする恐れのある内容です。

●直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

●お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルを本体から抜いてください。

●磁気を発生させる機器の近くには置かない。

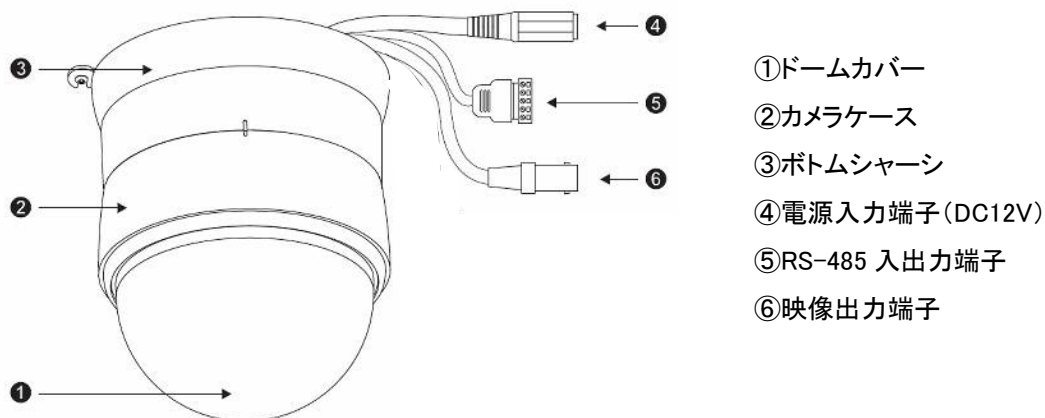
磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響を受けて、正しく動作しないことがあります。

## 2. 特長

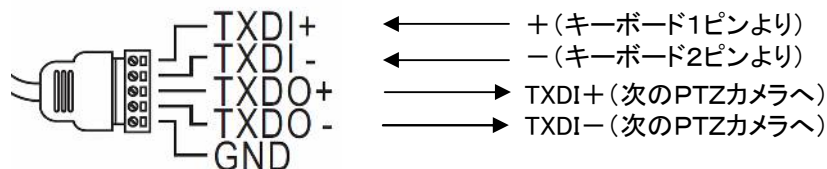
- 12倍光学ズームレンズ一体型 (SP-3128N) および 2.6倍光学ズームレンズ SP-3038) 一体型のスピードドームカメラです。
- プライバシーマスク装備、最大4箇所の設定が可能です。
- 水平方向 360° 連続回転ができます。
- プリセットポジションは最大128箇所設定可能、プリセットポジションのオートスキャンも可能です。
- 水平解像度 540TV本(カラー)/600TV本(白黒)の高解像度です。
- フリッカレス機能を装備しています。
- RS-485でコントロールができます。(最大延長距離約1km)
- 最大256台のシステム構成が可能です。
- 被写体の明るさに応じてカラー/白黒が自動的に切替わります。
- 逆光補正回路内蔵、逆光下でも鮮明な画像が得られます。
- カメラ設定はモニタ画面上で設定できます。
- ミラー反転機能を装備しています。

## 3. 各部の名称

### 3-1. ドーム本体



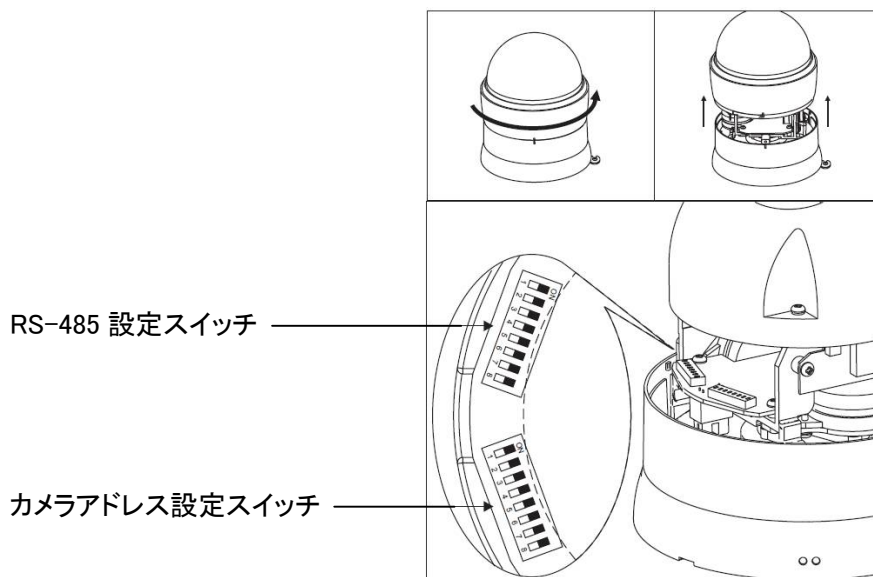
### 3-2. RS-485 コネクタ部



■機器との接続距離は最大1kmです。

ケーブルは 0.75 以上のツイストペアケーブルを使用してください。

## 4. カメラ本体の設定方法



### 4-1. カメラアドレスの設定

- ・ 次章「カメラアドレスの設定チャート」を参照して設定してください。

### 4-2. RS-485 プロトコルの設定

1. RS-485 入力 : 終端抵抗の ON/OFF
2. RS-485 出力 : 終端抵抗の ON/OFF
3. HALF/FULL : 2 線式(半二重)または 4 線式(全二重)の選択
4. BAUD SEL1 : ボーレート設定 1
5. BAUD SEL2 : ボーレート設定 2
6. プロトコル 1 : プロトコル選択 1
7. プロトコル 2 : プロトコル選択 2
8. プロトコル 3 : プロトコル選択 3
9. プロトコル 4 : プロトコル選択 4
10. - : 未使用

#### 4-2-1. RS-485 終端抵抗の設定

- ・ 本機を 1 台のみ使用する場合、または制御信号分配器で RS-485 を分配し、RS-485 のそれぞれのライン上に本機が 1 台しか存在しない場合は、終端抵抗は入出力とも ON に設定してください。  
(工場出荷時設定)
- ・ 複数台の本機を渡り接続(デジチェーン)して使用する場合は、最初と最後の機器の終端抵抗を ON に設定し、中間に位置する機器の終端抵抗は OFF に設定してください。

#### 4-2-2. RS-485 通信モードの選択

通信モードの選択	
ディップスイッチ	3
2線式(半二重)	OFF
4線式(全二重)	ON

2線式(半二重)モード → 低コストで設定が簡単のためこのモードを使用します。

このモードではデータの送受信を同時に行なうことはできません。

4線式(全二重)モード → 同時にデータを送受信できます。

#### 4-2-3. ボーレートの設定

ボーレートの設定		
ディップスイッチ	4	5
2400 bps	ON	ON
4800 bps	OFF	ON
9600 bps	ON	OFF
19200 bps	OFF	OFF

メリットプロトコルは MLP1、MLP2 ともに

ノンパリティ、データ長 8bit、ストップビット 1bit、ボーレート 9600bps

#### 4-2-4. プロトコルの設定

プロトコルの設定				
ディップスイッチ	6	7	8	9
MLP2(メリットプロトコル 2)	ON	ON	ON	ON
MLP1(メリットプロトコル 1)	OFF	ON	ON	ON

MLP1(メリットプロトコル 1) : 2Byte で構成されており、MKB-800 II、MSD-7000NF、MSD-7600NF など  
に使用されています。

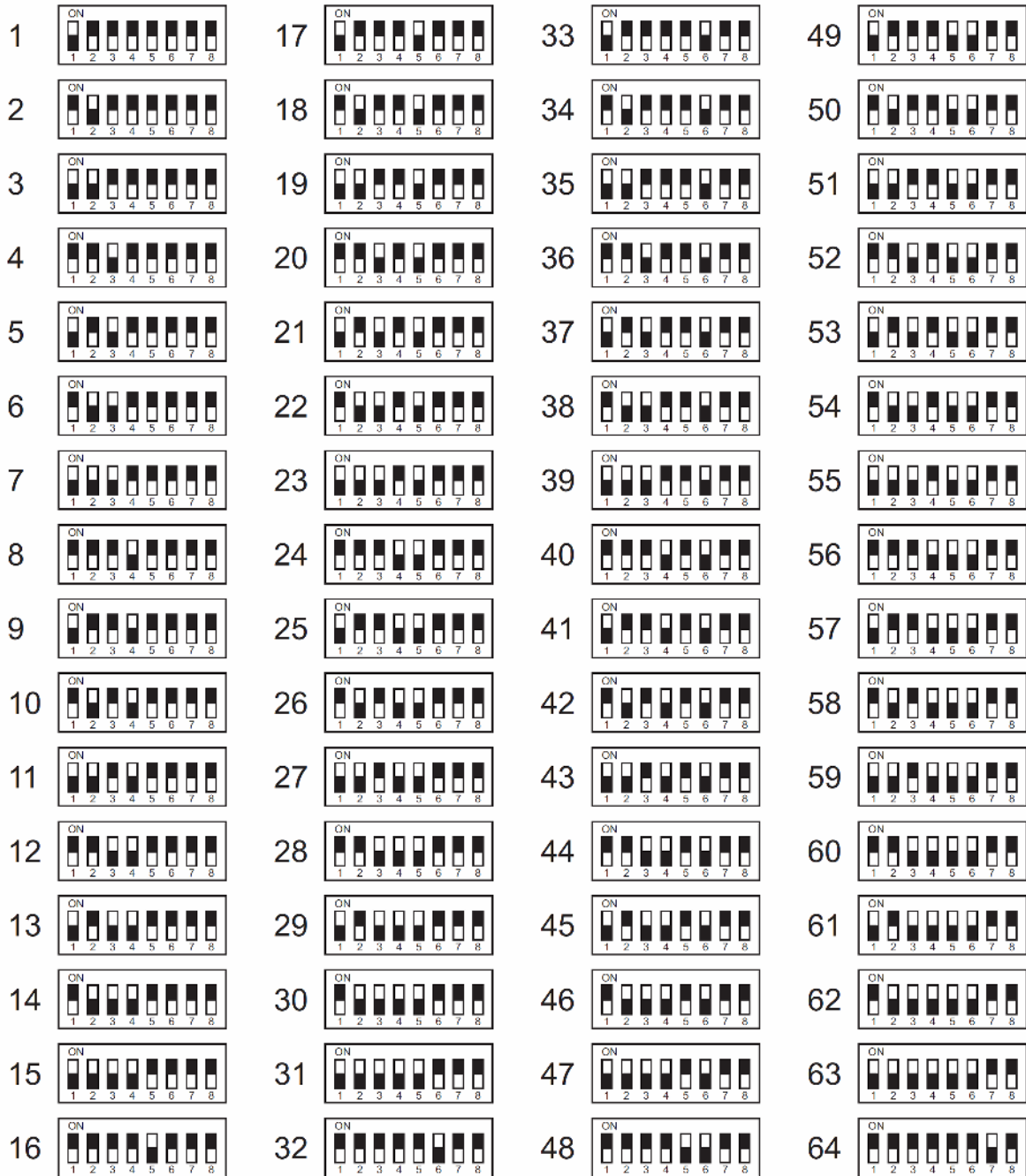
MLP2(メリットプロトコル 2) : PTZカメラを制御するための新しいプロトコルです。MLP2はチェックサム  
やエキストラコードを含む 7Byte で構成されており、チェックサムはプロトコルに影響を及ぼす RS-485 の干渉を防ぎ、エキストラコードはホームポジ  
ションの設定を可能にします。

#### 4-2-5. メリットプロトコル用ディップスイッチの設定

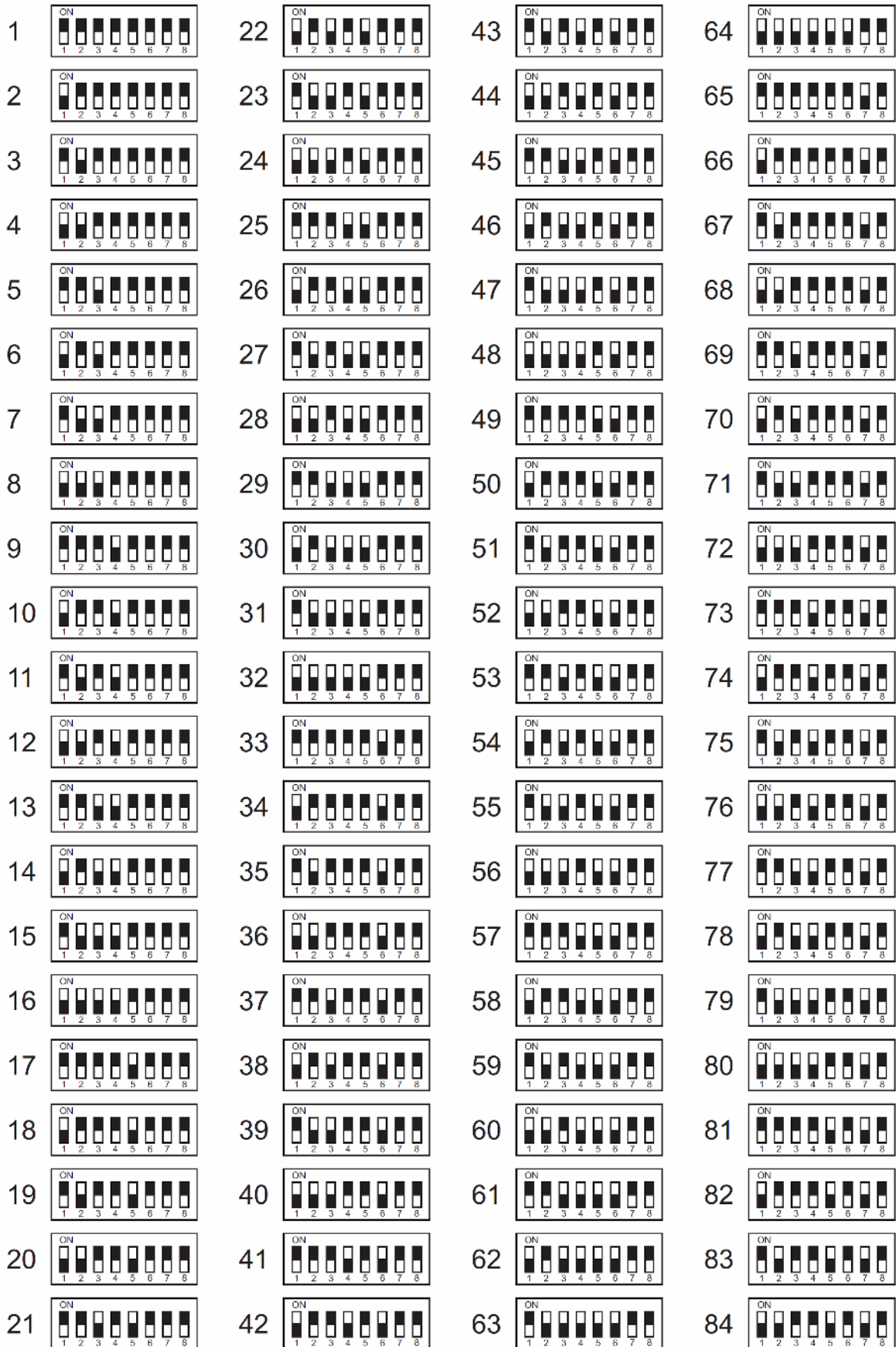
メリットプロトコル・ディップスイッチ設定										
ディップスイッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
MLP2(メリットプロトコル 2)	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
MLP1(メリットプロトコル 1)	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF

# 5. カメラアドレスの設定チャート

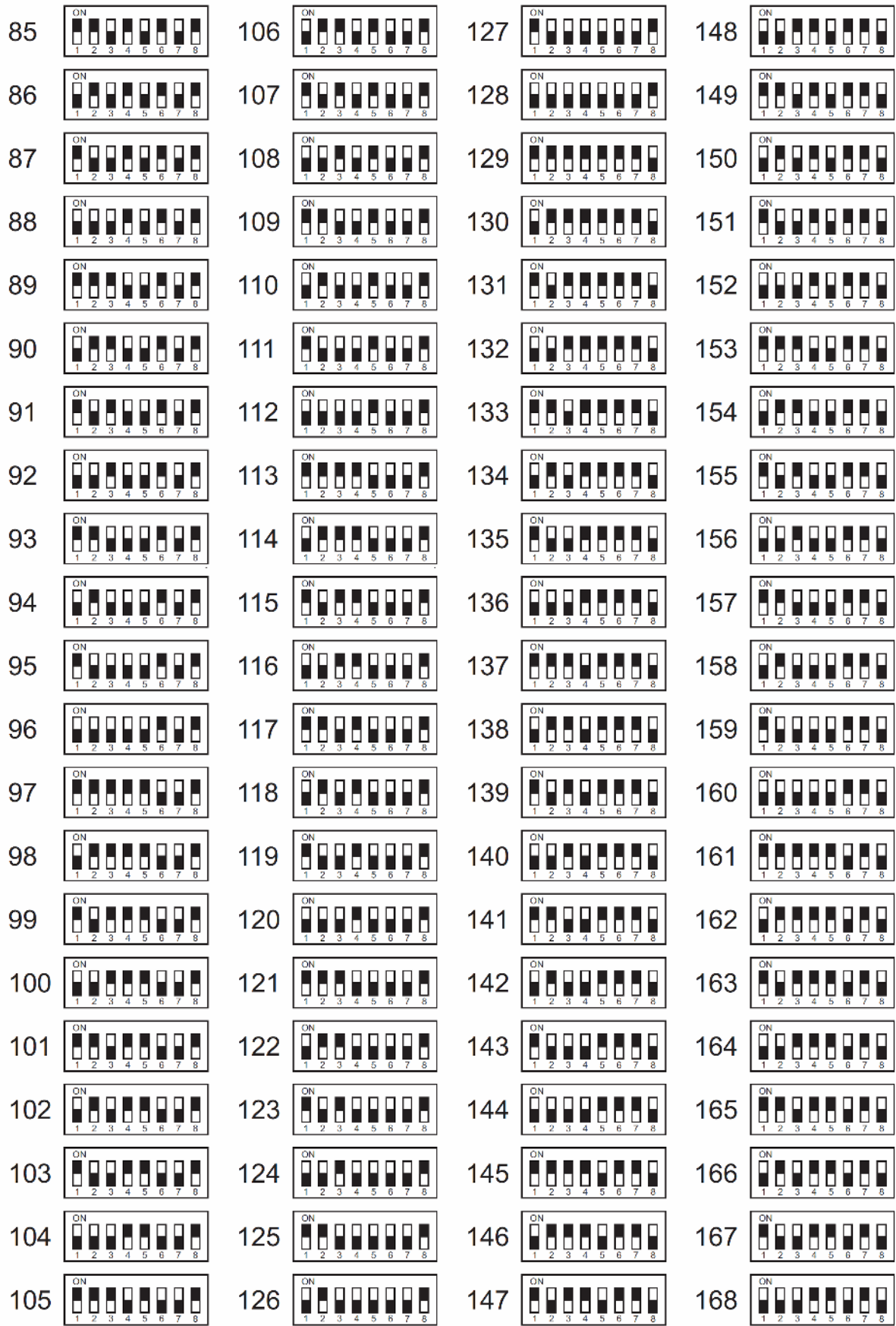
## 5-1. メリットプロトコル1 (MLP1) (最大 64 台まで接続できます。)



## 5-2. メリットプロトコル 2 (MLP2) (最大 256 台まで接続できます。)

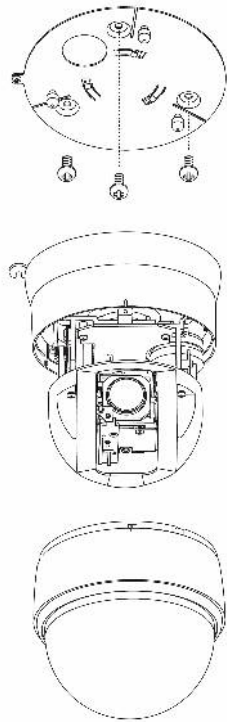






169		191		213		235	
170		192		214		236	
171		193		215		237	
172		194		216		238	
173		195		217		239	
174		196		218		240	
175		197		219		241	
176		198		220		242	
177		199		221		243	
178		200		222		244	
179		201		223		245	
180		202		224		246	
181		203		225		247	
182		204		226		248	
183		205		227		249	
184		206		228		250	
185		207		229		251	
186		208		230		252	
187		209		231		253	
188		210		232		254	
189		211		233		255	
190		212		234		256	

## 6. 取付分解図



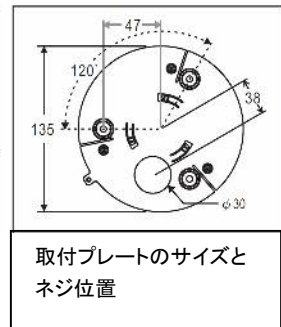
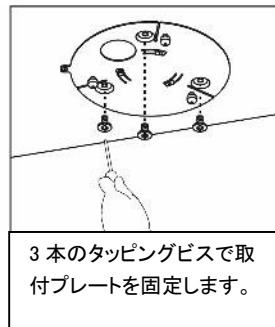
## 7. 設置方法

(注) 本機は天井直付または壁取付が可能ですが、天井埋込はできません。

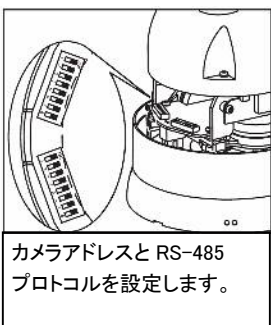
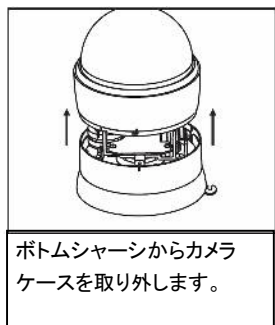
(注) 取り付け場所に十分な強度が無い時は必ず補強工事を行ってください。

### 7-1. 天井直付の時

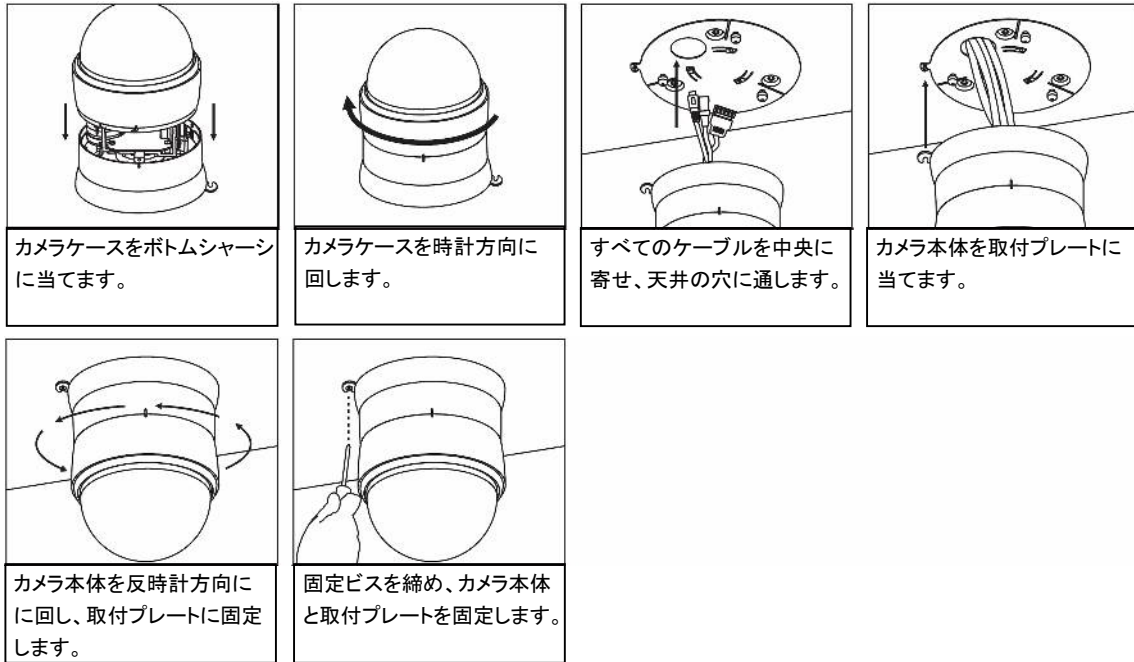
#### 7-1-1. 取付プレートの天井取付



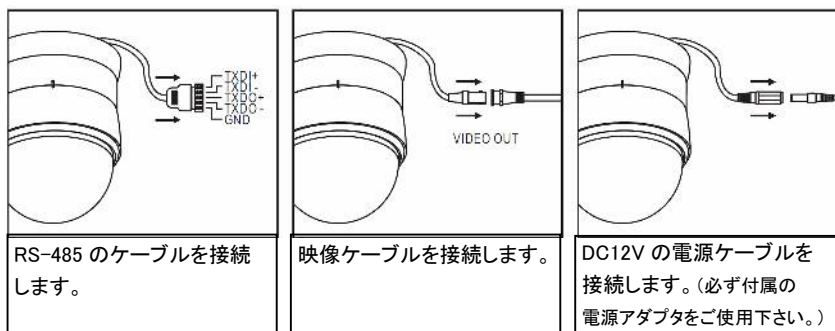
#### 7-1-2. カメラの設定



### 7-1-3. カメラ本体と取付プレートの取り付け

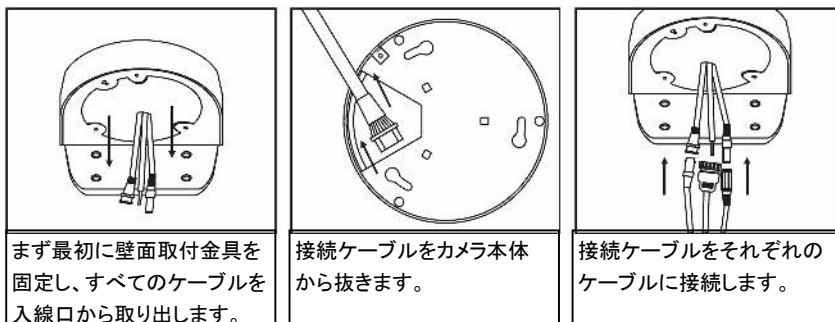


### 7-1-4. ケーブルの接続

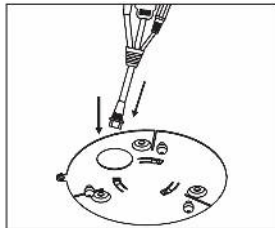


## 7-2. 壁付の時(別売の壁面取付金具 MMB-76WM が必要です)

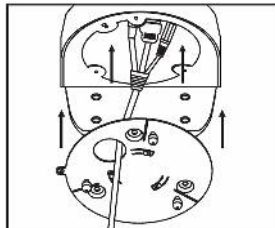
### 7-2-1. 壁面取付金具の固定



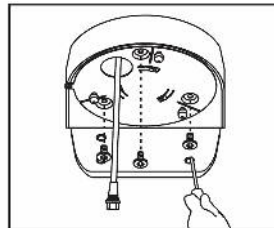
### 7-2-2. 取付プレートの固定



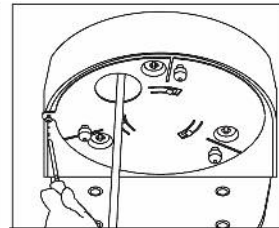
接続ケーブルを取付プレートの穴に通します。



取付プレートを壁面取付金具に当て、接続部を壁面取付金具の中に収めます。

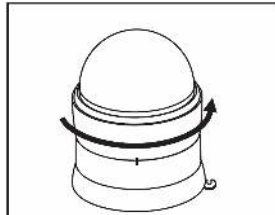


3本のビスで取付プレートを固定します。

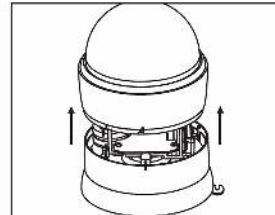


固定ネジを緩めます。  
(ネジを外す必要はありません。)

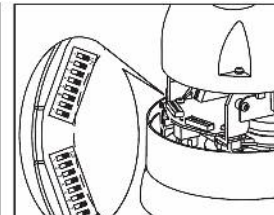
### 7-2-3. カメラの設定



カメラケースを反時計方向に回します。

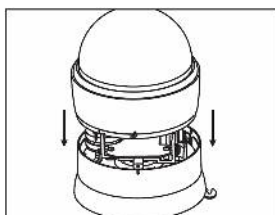


ボトムシャーシからカメラケースを取り外します。

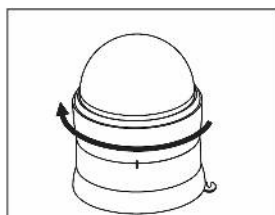


カメラアドレスとRS-485プロトコルを設定します。

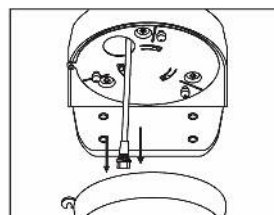
### 7-2-4. カメラ本体と取付プレートの取り付け



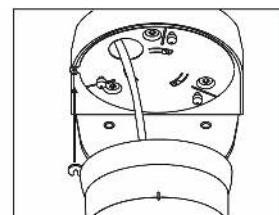
カメラケースをボトムシャーシに当てます。



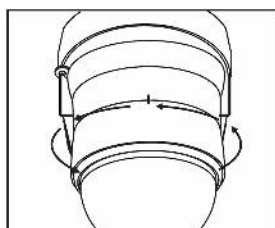
カメラケースを時計方向に回します。



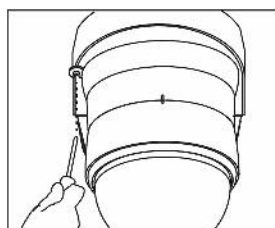
接続ケーブルをカメラ本体に接続します。



カメラ本体を取付プレートに当てます。



カメラ本体を反時計方向に回し、取付プレートに固定します。



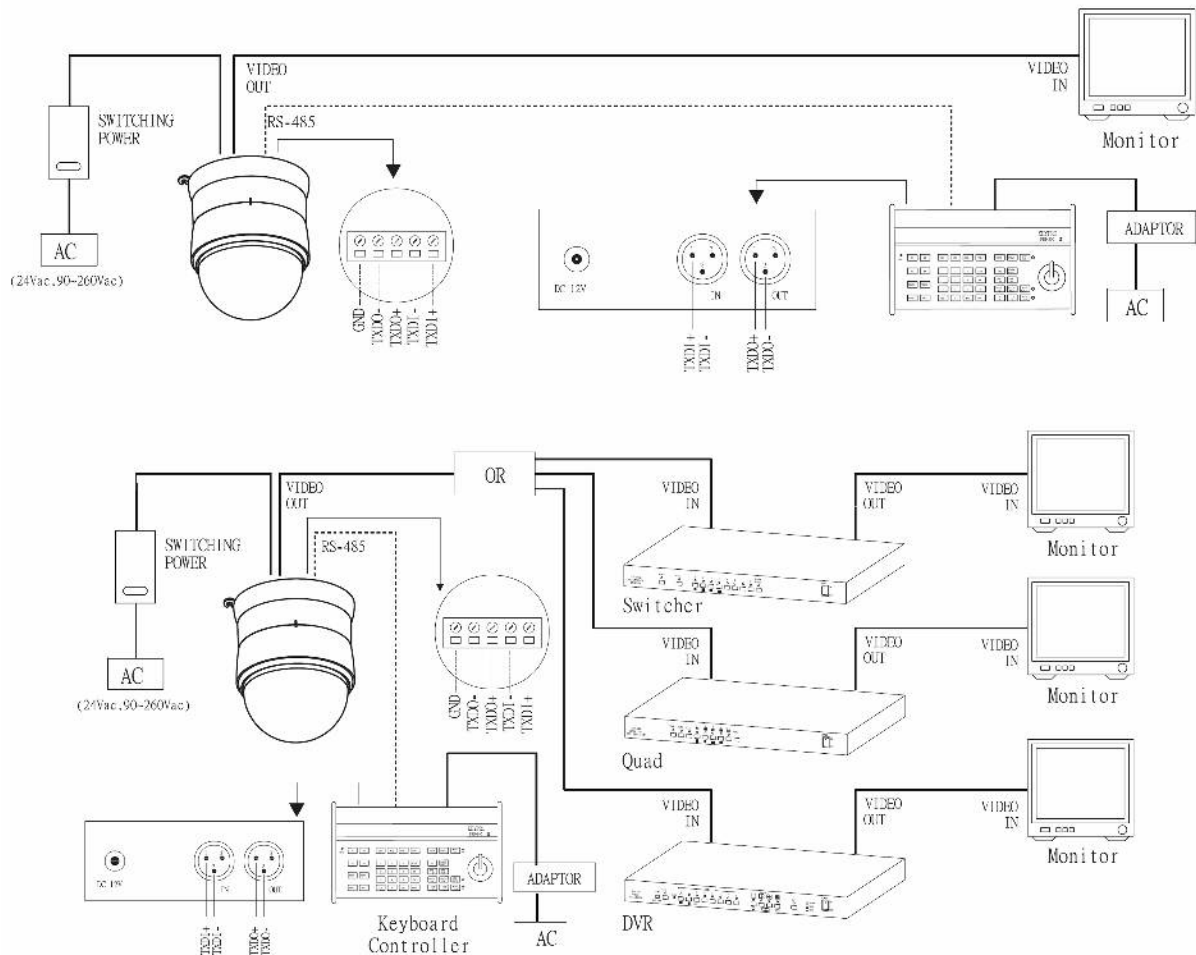
固定ビスを締め、カメラ本体と取付プレートを固定します。

## 8. 接続例

### 8-1. システム 1 <スピードドーム+キーボード>

#### 8-1-1. スピードドーム 1 台の場合

1 台のスピードドームを MKB-800Ⅲまたは MKB-931D に接続します。制御信号はスピードドームとキーボード間のツイストペアケーブルを通して送信されます。スピードドームの映像信号はモニタ、スイッチャ、4分割ユニットなどに接続されます。



遠隔制御は標準のRS-485で行なわれます。キーボードのINコネクタのTXDI+をスピードドームのTXDI+に、またキーボードのINコネクタのTXDI-をスピードドームのTXDI-に接続します。

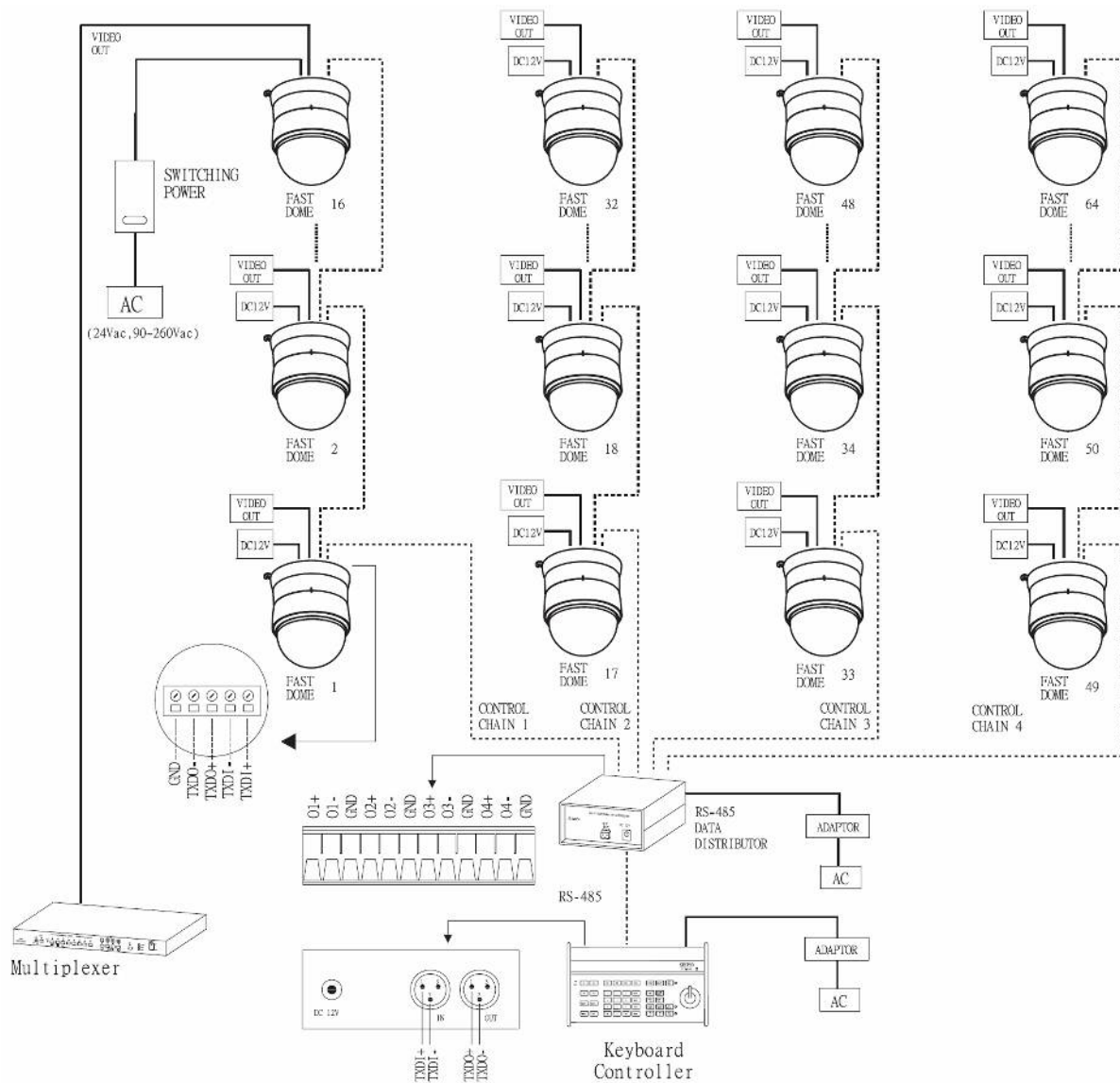
### 8-1-2. スピードドーム複数台の場合

1 台のスピードドームから次のスピードドームへと渡り接続します。スピードドームは個々の ID (アドレス) を設定するための DIP を有しており、その ID によりキーボードはスピードドームを特定し制御します。

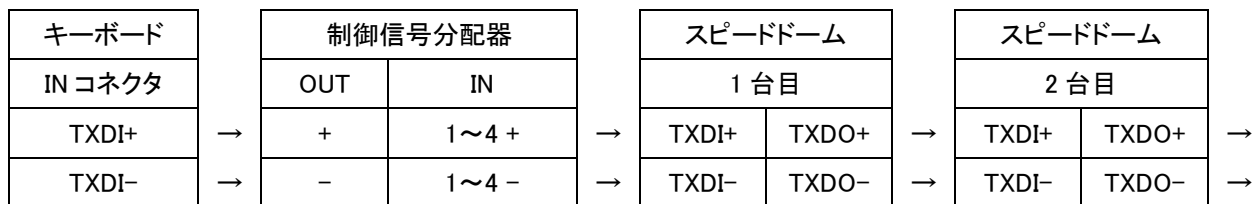
また設置環境により、渡り接続ではなくスター結線のほうが都合のいい場合があります。制御信号を分配するには別売の制御信号分配器 PIH-804Ⅲが必要になります。PIH-804Ⅲは 1 系統の制御信号を 4 系統に分配します。

渡り接続とスター結線は混合して構成することが可能です。

1 台のキーボードで最大 64 台までのスピードドームの制御ができます。



制御信号の接続方法は次の通りです。

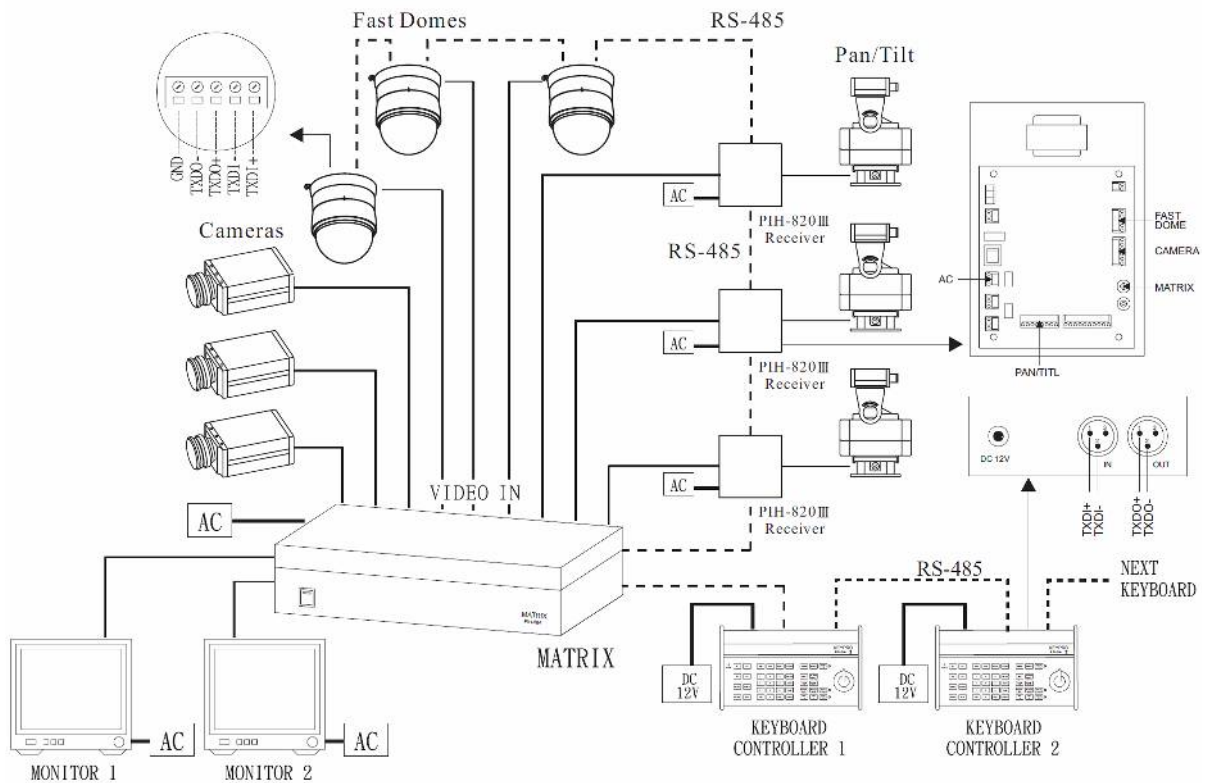


## 8-2. システム 2 <スピードドーム+マトリクススイッチャ+キーボード>

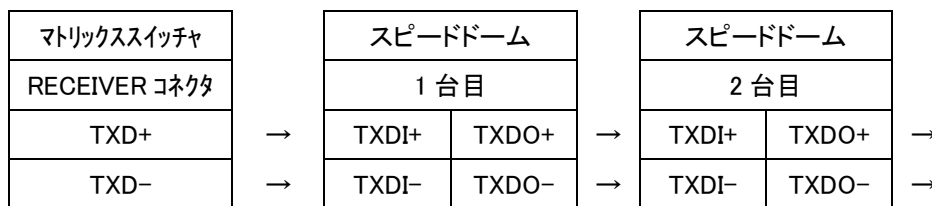
マトリクスシステムは複数の機器、映像切替を処理するよう設計されています。CPU は複数の映像信号を同時に管理し、スピードドームなどの接続された機器を制御することができます。

すべての遠隔操作と制御信号通信はツイストペアケーブルを介して行われます。1 台のマトリクススイッチャで 64 台までのスピードドームを管理することができます。

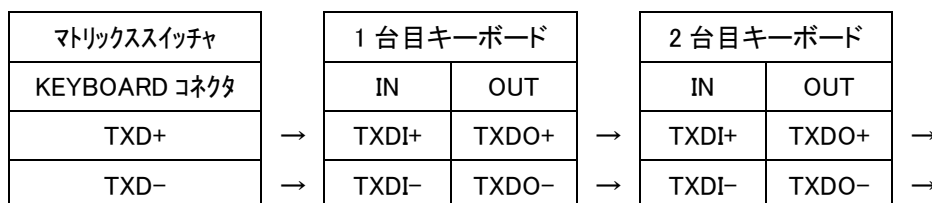
マトリクススイッチャの制御には複数のキーボードが使用でき、最初のキーボードはマスター、残りのキーボードはスレーブとなります。1 つのシステムに 8 台までのキーボードが使用でき、それぞれのキーボードは DIP スイッチにより ID を設定します。(詳しくはキーボードの取扱説明書をご参照ください。)



### ・マトリクススイッチャ — スピードドーム間の制御信号の接続



### ・マトリクススイッチャ — キーボード間の制御信号の接続





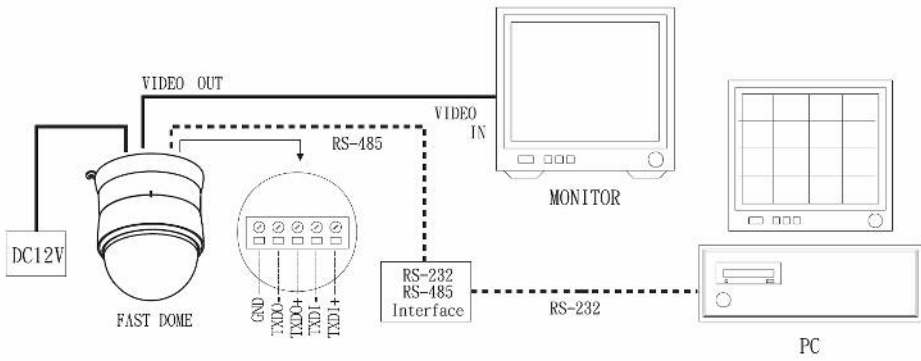
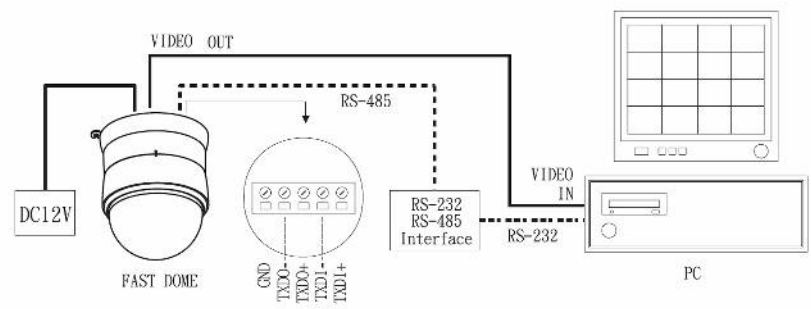
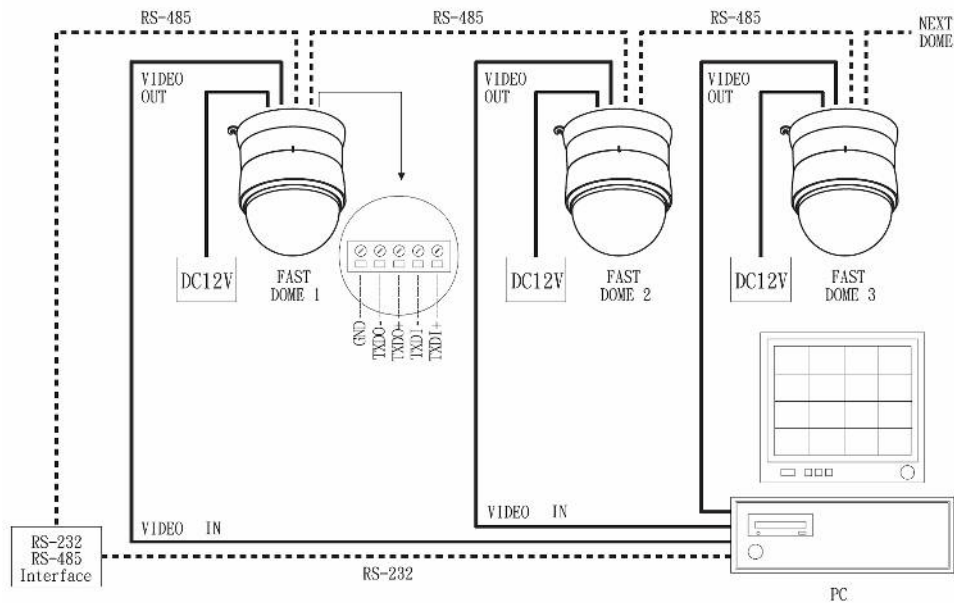
### 8-3. システム 3 <PC によるスピードドームの制御>

PC によるスピードドームの遠隔制御は標準の RS-485 データフォーマットで行われます。

(フォーマット ; パリティチェックなし、データ長 8bit、ストップビット 1bit、ボーレート 9600bps)

PC の RS-232 制御ポートを RS-485 に変換してください。

スピードドームの制御にはユーザ自身のソフトウェア(プロトコル)または弊社の用意したソフトウェアを使用します。このシステムでは 64 台までのスピードドームが接続できます。



インターフェイス変換器 — スピードドーム間の制御信号の接続

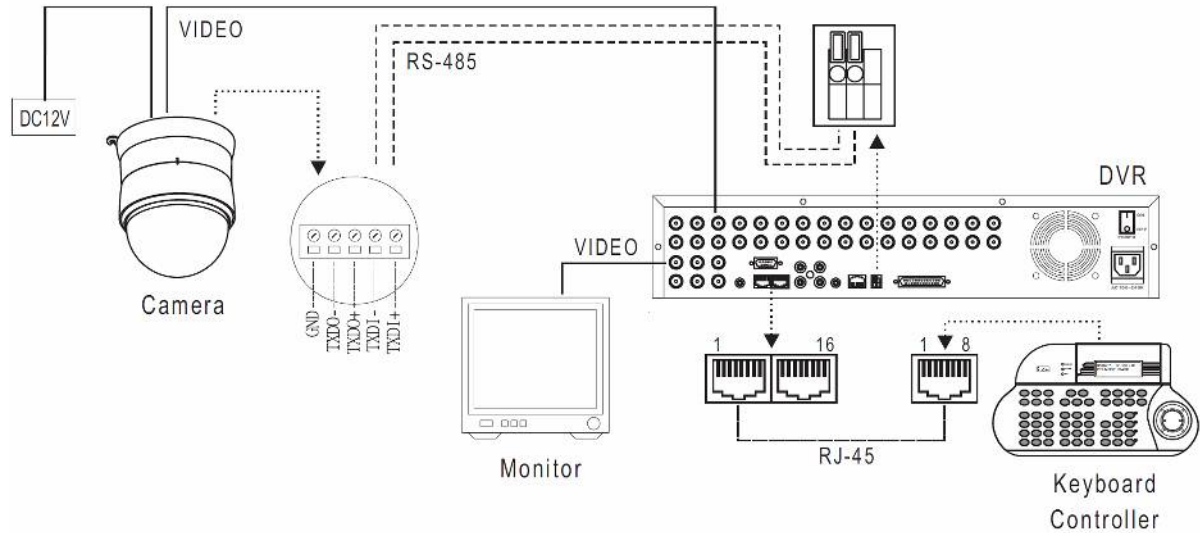
インターフェイス変換器		スピードドーム		スピードドーム	
RS-485		1 台目		2 台目	
TXD+	→	TXDI+	TXDO+	TXDI+	TXDO+
TXD-	→	TXDI-	TXDO-	TXDI-	TXDO-

## 8-4. システム 4 <スピードドーム+DVR+キーボード>

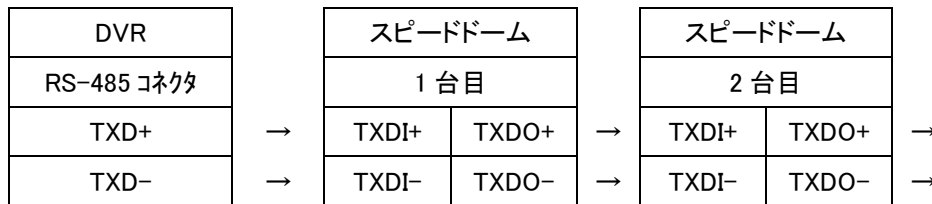
DVR(デジタル・ビデオ・レコーダ)は長時間記録、簡単な検索機能を備えた先端のデジタル記録装置です。遠隔操作のための制御信号通信はツイストペアケーブルを介して行われます。

スピードドームは DVR の制御パネルまたはキーボードにより直接制御することができます。

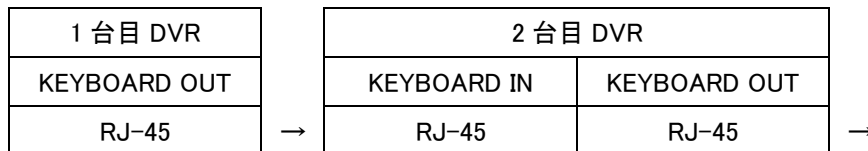
それぞれの DVR は 16 チャンネルの映像信号と、RS-485 を渡り接続(デジーチェーン)することにより 16 台のスピードドームを管理することができます。



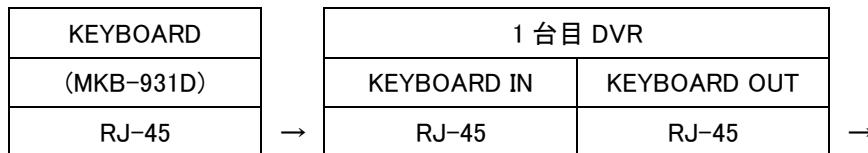
### ・DVR — スピードドーム間の制御信号の接続



### ・DVR 間の制御信号の接続



### ・DVR — キーボード間の制御信号の接続



## 9. 操作

### 【前準備】

スピードドームとキーボードのプロトコルが同じになるように設定してください。

システムの中に旧タイプのスピードドーム MSD-7000NF、MSD7600NF、MSD-7625NF または旋回台用受信機 PIH-820 が混在する場合は MLP1 を選択し、それ以外は MLP2 を選択してください。

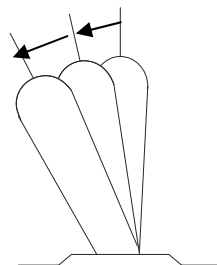
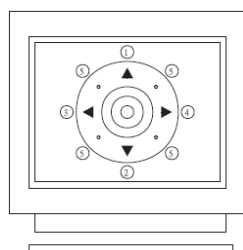
(注)MKB-800Ⅲの「CAM SETUP」釦は MKB-931D では「SET」釦になります。本書では「CAM SETUP」釦と記載しますが、MKB-931D をご使用の際は、「SET」釦と読み替えてお使いください。

### 9-1. マニュアル操作

- ・スピードドームに電源を投入すると、自動的に自己診断を開始し、基本機能をチェックして停止します。
- ・自己診断を行なっている間は、操作ができません。
- ・プリセットとツアーまたはオートスキャンが設定されていてオートパン実行中に電源を切った場合、電源が復帰すると、スピードドームは自己診断が終了すると自動的にオートパンモードに入ります。
- ・オペレーターがキャンセルするまで、スピードドームはオートパンを続けます。

#### 9-1-1. ジョイスティックの操作

ジョイスティックによりパンチルトの操作ができます。



- ① 上へ : ジョイスティックを上へ倒します。
- ② 下へ : ジョイスティックを手前に倒します。
- ③ 左へ : ジョイスティックを左へ倒します。
- ④ 右へ : ジョイスティックを右へ倒します。
- ⑤ 斜め : 斜めにジョイスティックを倒します。カメラはその方向へ回転します。

ジョイスティックの倒す角度によりパンチルトのスピードが異なります。

#### 9-1-2. スピードドームの選択

はじめに「1」→「MON」と押し、表示するモニタを選択します。

例 1. アドレス 1 番のスピードドームの選択

1 → CAM

例 2. アドレス 64 番のスピードドームの選択

6 → 4 → CAM

#### 9-1-3. ズームレンズ制御

ZOOM IN : モニタ画面上で被写体が大きくなります。(拡大)

ZOOM OUT : モニタ画面上で被写体は小さくなります。

#### 9-1-4. フォーカス制御 (SP-3128N のみ)

FOCUS FAR : 焦点が遠くなります。

FOCUS NEAR : 焦点が近くなります。

AUTO FOCUS : 自動的に焦点をあわせます。

(SP-3038N では常に AUTO FOCUS モードです。)

#### 9-1-5. アイリス制御

- IRIS O : 絞りを開け画面を明るくします
- IRIS C : 絞りを閉じ画面を暗くします。
- AUTO IRIS : 最適な明るさになるよう、自動的に絞りを調整します。

#### 9-1-6. 水平方向 180 度回転

- 180 REV : カメラの向きを水平方向に瞬時に 180 度回転させます。

### 9-2. プリセット

それぞれのスピードドームには 128 箇所のプリセット位置を設定することができます。  
最初の 16 箇所のプリセット位置(プリセット番号 1~16)はオートパンモードでも使用されます。

#### 9-2-1. プリセット位置の設定

(プリセット位置は OSD メニューからも設定できます。詳しくは 11-3-3. **プリセットの設定**を参照してください。)

- ① プリセットを設定するカメラ番号を 1~64 の数字釦で入力し「CAM」釦を押してください。
- ② 数字釦で 1~128 のプリセット番号を入力し「PRESET」釦を押してください。
- ③ ジョイスティックとレンズ操作釦でスピードドームカメラを希望の角度に設定してください。
- ④ 数字釦で 1~120(度/秒)の回転速度を入力し「F1」釦を押してください。
- ⑤ 数字釦で 1~255(秒)の停止時間を入力し「F2」釦を押してください。
- ⑥ 数字釦「1」に続き「F3」釦を押して、データを保存してください。

設定例 :

- |   |                |
|---|----------------|
| ① カメラ番号 1 を選択します。                         | 1 → CAM        |
| ② プリセット番号 1 を選択します。                       | 1 → PRESET     |
| ③ ジョイスティックとレンズ操作釦でスピードドームカメラを希望の角度に設定します。 |                |
| ④ 回転速度を 120 度/秒に設定します。                    | 1 → 2 → 0 → F1 |
| ⑤ 停止時間を 3 秒に設定します                         | 3 → F2         |
| ⑥ プリセットデータを保存します。                         | 1 → F3         |

#### 9-2-2. プリセット位置の呼び出し

数字釦で 1~128 のプリセット番号を入力し「PRESET」釦を押してください。入力されたプリセット番号にプリセットデータが登録されている場合、スピードドームは自動的に登録された角度になります。  
プリセットデータが登録されていない場合、スピードドームの角度は変わりません。

操作例 : プリセット番号 1 の呼び出し      1 → PRESET

#### 9-2-3. プリセットグループの登録(オートパンの設定)

各スピードドームカメラのプリセット番号 1~16 は自動的に次のように 4 つのプリセットグループに振り分けられます。

- プリセットグループ 1 : プリセット番号 1、2、3、4
- プリセットグループ 2 : プリセット番号 5、6、7、8
- プリセットグループ 3 : プリセット番号 9、10、11、12
- プリセットグループ 4 : プリセット番号 13、14、15、16

オートパン(ツアー)は登録されたグループに含まれるプリセット番号(プリセット位置)を順にたどりませす。従ってオートパン機能を使用する用途では、プリセットはオートパン動作を考慮して設定してください。

登録例 1 : プリセットグループ 1 をオートパンに登録

数字釦「1」に続き「F4」釦を押してください。

1 → F4

登録例 2 : プリセットグループ 2、3、4 をオートパンに登録

数字釦「2」、「3」、「4」に続き「F4」釦を押してください。

2 → 3 → 4 → F4

#### 9-2-4. オートパンの実行

オートパンが実行されると、スピードドームは登録されたプリセットグループのプリセット位置を自動的にたどります。

- ① 「AUTO PAN」釦を押してください。AUTO PAN の LED が点灯し、オートパンが開始されます。
- ② 再度「AUTO PAN」釦を押すと AUTO PAN の LED が消灯し、オートパンが停止します。

(注) オートパン実行中のスピードドームをマニュアル操作することはできません。マニュアル操作はオートパンを停止してから行ってください。

オートパン実行中のスピードドームがシステム内にあっても、実行中でない他のスピードドームをマニュアル操作することは可能です。

#### 9-2-5. プリセットデータの変更

9-2-1. プリセット位置の設定の方法で再度設定し直すことにより、前のデータが新たに設定されたデータに上書きされます。

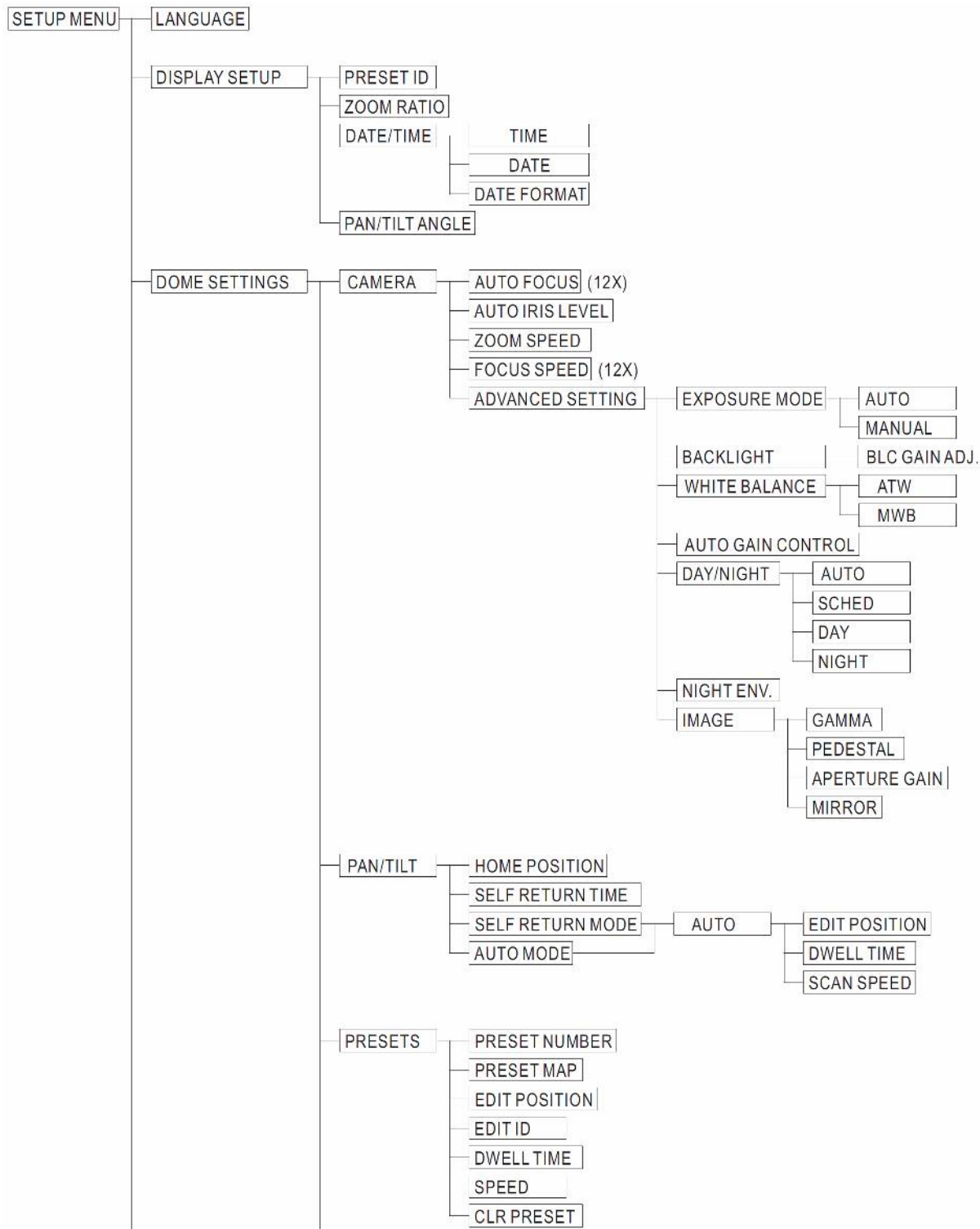
#### 9-2-6. プリセットデータの一括削除

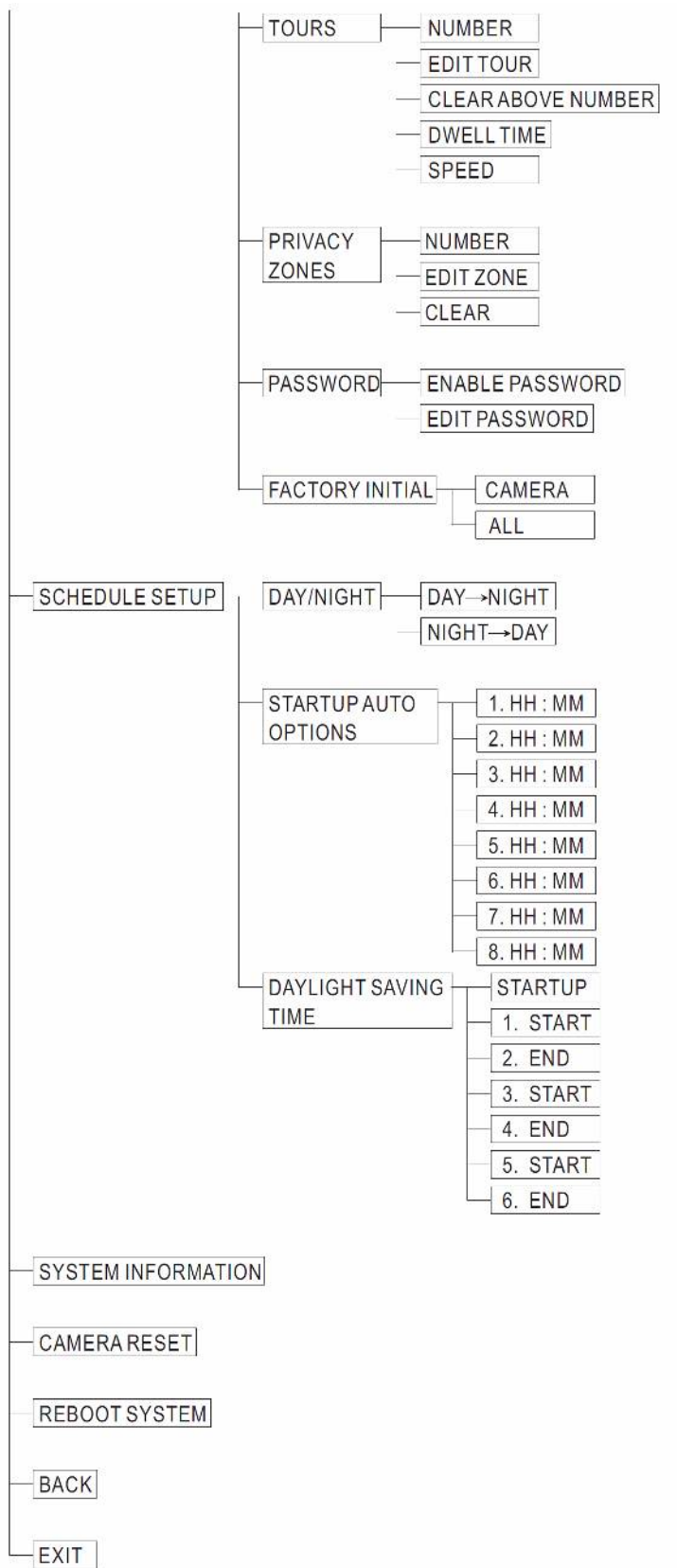
数字釦で「9」、「0」、「1」、「1」と入力し「CLR」釦を押すと、設定されたすべてのプリセットデータが一括して削除されます。

#### 9-2-7. プリセットデータの個別削除 (MLP2 のみ有効)

「SHIFT」釦に続き数字釦でプリセット番号を入力し、「PRESET」釦 → 「CLR」釦と押すと、入力したプリセット番号のプリセットデータが削除されます。

# 10. 設定メニュー画面一覧





# 11. スピードドームの設定

SP-3038、SP-3128 は、モニタに表示される OSD メニューに従って、設定をします。

## 【設定メニュー表示及び基本操作】

- ・ 「CAM SETUP」釦を押してメインメニューを開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で設定項目を選択、左右操作でサブ項目の選択(または数値の変更)をします。
- ・ 「ESC」釦を押すかジョイスティックで「EXIT」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して終了します。
- ・ メニューの項目が<>で囲まれている場合、さらにサブメニューが存在することを表します。

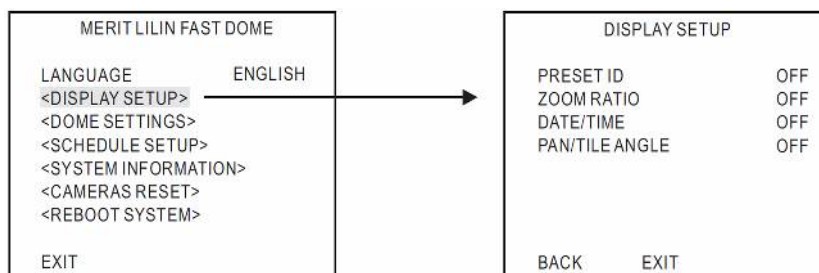


### 11-1. 言語選択

- ・ 「CAM SETUP」釦 → 「LANGUAGE」を選択 → 下記の内いずれかを選択  
ENGLISH → FRANCAIS → DEUTSCH → ESPAÑOL → POLISKI → PORTUGAL →  
РОССИЯ → 繁體中文 → 以後繰り返し
- ・ 「ESC」釦を押すかジョイスティックで「EXIT」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して終了します。

### 11-2. 文字表示設定 (DISPLAY SETUP)

- ・ 「CAM SETUP」釦 → 「DISPLAY SETUP」を選択 → サブメニューを表示



#### 11-2-1. プリセット番号表示設定 (PRESET ID)

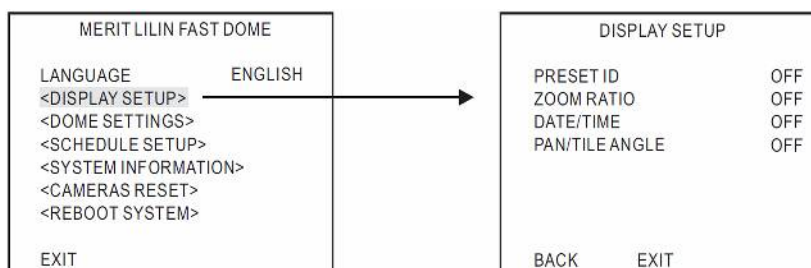
- ・ ジョイスティックの上下操作で「PRESET ID」を選択、左右操作で下記項目を設定します。  
OFF : プリセット番号は表示されません。  
1-255sec : プリセットが呼ばれた時、設定した秒数だけプリセット番号を表示します

#### 11-2-2. ズーム倍率表示設定 (ZOOM RATIO)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ZOOM RATIO」を選択、左右操作で下記項目を設定します。  
OFF : ズーム倍率は表示されません。  
1-255sec : 設定した秒数だけズーム倍率を表示します。

#### 11-2-3. 日付・時間設定 (DATE/TIME)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DATE/TIME」を選択、左右操作で下記項目を設定します。





OFF : 日付・時間は表示されません。

<ON> : 日付・時間設定画面に入ります。

### ① 時間設定 (TIME)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「TIME」を選択、「CAM SETUP」釦を押して、左右操作で数値を調整し、「CAM SETUP」釦を押して次の項目に移動します。

12:00:01→「CAM SETUP」釦→12:00:01→「CAM SETUP」釦→12:00:01→「CAM SETUP」釦→12:00:01

### ② 日付設定 (DATE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DATE」を選択、「CAM SETUP」釦を押して、左右操作で数値を調整し、「CAM SETUP」釦を押して次の項目に移動します。

07:01:02→「CAM SETUP」釦→07:01:02→「CAM SETUP」釦→07:01:02→「CAM SETUP」釦→07:01:02

### ③ 年月日表示フォーマット設定 (DATE FORMAT)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DATE FORMAT」を選択、左右操作でフォーマットを設定します。

yy / mm / dd → mm / dd / yy → dd / mm / yy

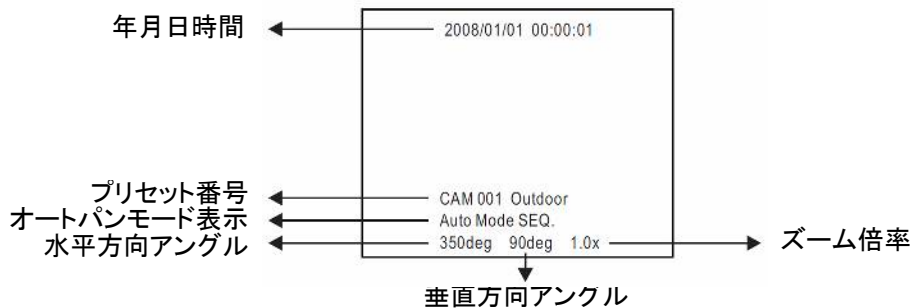
## 11-2-5. パンチルトアングル表示設定 (PAN/TILT ANGLE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「PAN/TILT ANGLE」を選択、左右操作で設定します。

OFF : パンチルトの角度は表示されません。

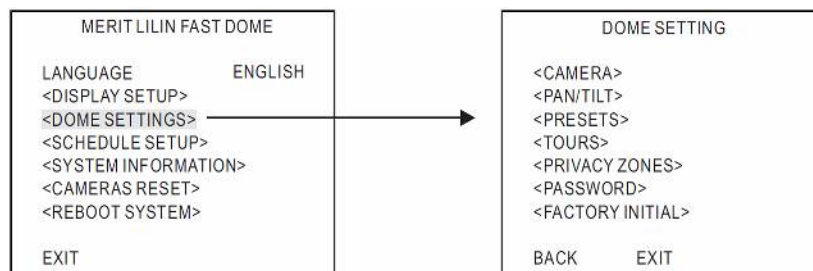
ON : パンチルトの角度は常に表示されます。

### ● モニタ表示文字について



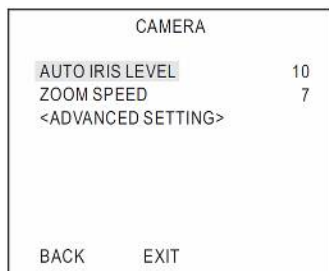
## 11-3. スピードドーム機能設定 (DOME SETTINGS)

- ・ 「CAM SETUP」釦を押してメニューを開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「DOME SETTINGS」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

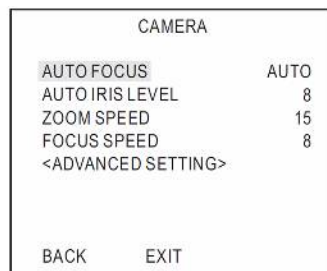


### 11-3-1. カメラ設定 (CAMERA)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CAMERA」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



SP-3038N



SP-3128N

#### ① オートフォーカス設定 (AUTO FOCUS) (SP-3128N のみ)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO FOCUS」を選択、左右操作でオートフォーカス機能を選択します。

AUTO → ONE PUSH → 以後繰り返し

AUTO : 常にオートフォーカス機能が働きます。

ONE PUSH : オートパン動作時またはズームのマニュアル操作時のみオートフォーカス機能が働きます。

#### ② オートアイリス感度設定 (AUTO IRIS LEVEL)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO IRIS LEVEL」を選択、左右操作でアイリスレベルを設定します。

オートアイリス感度 : 0~15

#### ③ ズームスピード設定 (ZOOM SPEED)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ZOOM SPEED」を選択、左右操作でスピードを設定します。

ズームスピード : 1~8 (SP-3038N)、1~15 (SP-3128N)

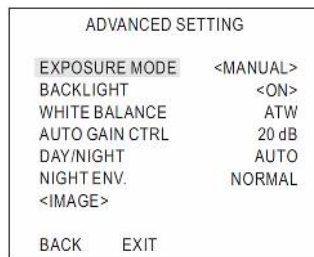
#### ④ フォーカススピード設定 (FOCUS SPEED) (SP-3128N のみ)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「FOCUS SPEED」を選択、左右操作でスピードを設定します。

フォーカススピード : 1~15

#### ⑤ カメラ詳細設定 (ADVANCED SETTING)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ADVANCED SETTING」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



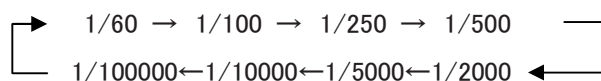
##### (1) 電子シャッターの設定 (EXPLOSURE MODE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EXPOSURE MODE」を選択、左右操作で AUTO/MANUAL を選択します。

AUTO : 特に明るい場所での画像効果を現すため、明るさの変化に応じてシャッタースピードが自動的に選択されます。

MANUAL : シャッタースピードを固定します。

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EXPOSURE MODE」→「MANUAL」を選択し「CAM SETUP」鈕を押して設定画面を開きます。
- ・ 左右操作で下記の中からシャッタースピードを選択します。



(フリッカレスモードにするにはここで 1/100 を選択してください。)

## (2) 逆光補正の設定 (BACKLIGHT)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「BACKLIGHT」を選択、左右操作で ON/OFF を設定します。

ON : 逆光補正機能が働きます。

OFF : 逆光補正機能は働きません。

「ON」選択時に「CAM SETUP」鈕を押すと BLC のゲイン設定画面が表示されます。ジョイスティックの左右操作で BLC のゲインを設定してください。

GAIN : 0~10

## (3) ホワイトバランス設定 (WHITE BALANCE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「WHITE BALANCE」を選択、左右操作で設定します。

ATW → MWB → 以後繰り返し

ATW : 周囲の色温度に自動的に追尾します。

色温度が 2500~9500K の環境下での使用に適しています。

MWB : 手動操作でホワイトバランスを調整します。

「MWB」選択時に「CAM SETUP」鈕を押すとホワイトバランス設定画面が表示されます。画面を見ながらジョイスティックの左右操作で R GAIN と B GAIN を調整してください。

最適なところで調整を終了すると、ホワイトバランスはその状態が記憶され固定されます。

MWB ADJUSTMENT	
R GAIN	73
B GAIN	85
BACK	EXIT

## (4) AGC 設定 (AUTO GAIN CTRL)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO GAIN CTRL」を選択、左右操作で設定します。

設定範囲 : 0 dB~36dB

## (5) 昼夜制御の設定 (DAY/NIGHT)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DAY/NIGHT」を選択、左右操作で設定をします。

AUTO → SCHED → DAY → NIGHT → 以後繰り返し

「AUTO」:

<SP-3038N>

被写体照度が 3 ルクス以上になると、自動的に DAY モードになり、カラー画像になります。

3 ルクス以下になると、自動的に NIGHT モードになり、白黒画像になります。

<SP-3128N>

被写体照度が 10 ルクス以上になると、自動的に DAY モードになり、カラー画像になります。

3 ルクス以下になると、自動的に NIGHT モードになり、白黒画像になります。

「AUTO」を選択中に「CAM SETUP」鈕を押すと感度設定メニューになります。

- ・ ジョイスティックの上下操作で「SENSITIVITY」を選択、左右操作で感度を設定します。

設定範囲 : 1~15

「SCHED」 : 指定した時間に自動的に DAY モードと NIGHT モードが切り替えられます。

「DAY」 : DAY モードになり、常時カラー画像になります。

「NIGHT」 : NIGHT モードになり、常時白黒画像になります。

#### (6) 夜間環境設定 (NIGHT ENV.)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「NIGHT ENV.」を選択、左右操作でモードを選択します。

NORMAL : 夜間照明として一般的な照明が使用される場合は、このモードを選択します。

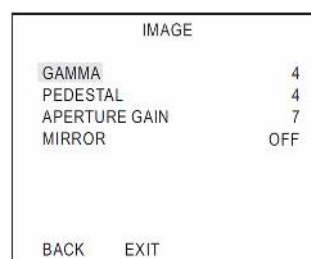
IR LIGHT : 夜間照明として赤外線照明が使用される場合は、このモードを選択します。

#### (7) イメージ設定 (IMAGE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「IMAGE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと「IMAGE」設定メニューが表示されます。

各項目はジョイスティックの上下操作で選択し、左右操作で設定してください。

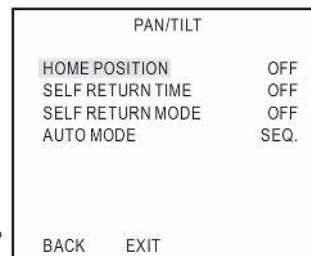
GAMMA : ガンマ設定 0~7  
 PEDESTAL : 黒レベル設定 0~15  
 APERTURE GAIN : 輪郭補正の設定 0~15  
 MIRROR : ミラー反転 ON/OFF



### 11-3-2. パンチルト設定 (PAN/TILT)

スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PAN/TILT」を選択、「CAM SETUP」釦を押してパンチルト「PAN/TILT」設定画面を開きます。

さらにサブメニューを上下操作で選択、左右操作で選択します。



#### ① ホームポジション設定 (HOME POSITION)

OFF : ホームポジションは設定しません。

1~128 : 指定したプリセット番号がホームポジションになります。

復帰モードを「HOME」に設定し、キーボード操作をせずに設定された復帰時間が経過すると復帰機能が働き、自動的にホームポジションに戻ります。

#### ② 自己復帰時間の設定 (SELF RETURN TIME)

OFF : 自己復帰しません。

1~90(分) : 指定した時間後に復帰します。

キーボード操作をせずに設定された復帰時間が経過すると復帰機能が働き、次項で設定する復帰モードに復帰します。

#### ③ 自己復帰モードの設定 (SELF RETURN MODE)

復帰時間経過後のモードを選択します。

OFF → HOME → AUTO → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → 以後繰り返し

OFF : そのままの状態です。

HOME : ホームポジションに戻ります。

AUTO : オートスキャンモードを開始します。

SEQ : プリセットグループモードを開始します。

TOUR1 : パターン1のツアーモードを開始します。

TOUR2 : パターン2のツアーモードを開始します。

#### ④ オートパンモードの設定 (AUTO MODE)

キーボードの「AUTO PAN」釦を押した時の動作モードを設定します。

OFF → AUTO → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → 以後くりかえし

OFF : 何も動作しません。

AUTO : オートスキャンモードを実行します。

SEQ : プリセットグループモードを実行します。

TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。

TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。

#### ⑤ オートスキャンモードの設定

オートスキャンモードでは設定された2箇所の位置を繰り返し往復します。

ジョイスティックの上下操作で「AUTO MODE」または「SELF RETURN MODE」を選択、左右操作で「AUTO」を選択、「CAM SETUP」釦を押し、設定画面を開きます。

##### (1) 位置設定 (EDIT POSITION)

ジョイスティックの上下操作で「EDIT POSITION」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定メニューに入ります。

ジョイスティックの上下左右操作、「ZOOM IN/OUT」釦、「FOCUS FAR/NEAR」釦、「IRIS O/C」釦でオートスキャンの開始位置を設定し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

同様にしてオートスキャンの終了位置を設定し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

##### (2) 停止時間の設定 (DWELL TIME)

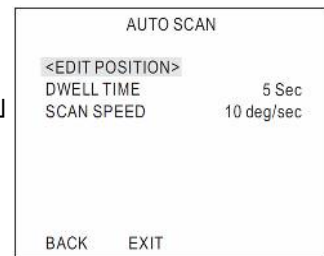
ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で時間を設定します。

設定範囲 : 1~255 秒

##### (3) スキャンスピードの設定 (SCAN SPEED)

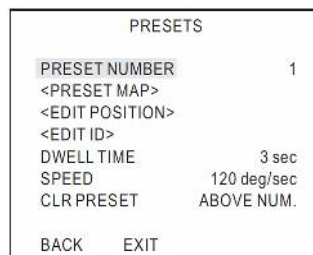
ジョイスティックの上下操作で「SCAN SPEED」を選択し、左右操作でスピードを設定します。

設定範囲 : 1~40 度/秒



#### 11-3-3. プリセット設定 (PRESETS)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PRESETS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



#### ① プリセット番号の選択

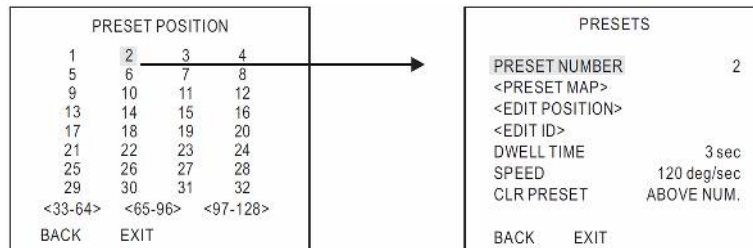
##### (1) プリセット番号による選択 (PRESET NUMBER)

ジョイスティックの上下操作で「PRESET NUMBER」を選択し、左右操作でプリセット番号を決定します。

(1~128)

## (2) プリセットマップによる選択 (PRESET MAP)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「PRESET MAP」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと 1 から 32 までのプリセットマップが表示されます。
- ・ ジョイスティックの上下左右操作で番号を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定します。
- ・ 33 以上のプリセット番号の設定が必要な場合は、ジョイスティックの上下左右操作で<33-64>を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと 33 から 64 までのプリセットマップが表示されます。<65-96>、<97-128>も同様に行ないます。

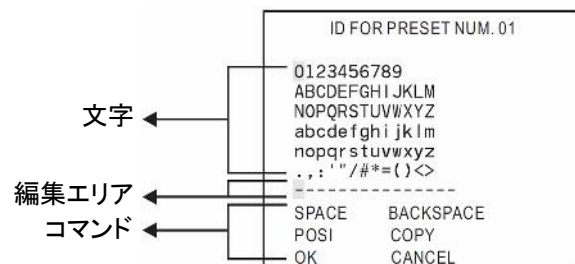


## ② プリセット位置の設定 (EDIT POSITION)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT POSITION」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの上下左右操作およびレンズ制御釦でスピードドームのアングルを設定し、「CAM SETUP」釦でプリセット位置を決定します。

## ③ プリセット ID の設定 (EDIT ID)

- ・ 個々のプリセット位置には名前を付けることができます。(英数字のみ)
- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT ID」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



### (1) 新しいプリセット ID の編集

- ・ ジョイスティックの操作で文字を選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。選択された文字は編集エリアに表示されます。文字間にスペースが必要な場合は、ジョイスティックで「SPACE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押してください。
- ・ 「IRIS O」または「IRIS C」釦を押すと、次の文字リストが表示されます。
- ・ この手順を繰り返し、プリセット ID を完成させてください。

### (2) 別のプリセットへのプリセット ID コピー

- ・ ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、左右操作でコピーする最初の文字を選択します。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「COPY」を選択し、「CAM SETUP」釦を押します。この時プリセット ID の最初の文字が別のプリセット ID の最初の文字としてコピーされます。次の文字をコピーするには再度「CAM SETUP」釦を押します。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押してこの設定画面を抜け出します。プリセット設定メニューからコピー先となるプリセット番号を選択し、プリセット ID 設定画面を表示させます。ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、「CAM SETUP」釦を押すと編集エリアにコピーされた文字が表示されます。

### (3) プリセット ID の変更

- ・ ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、左右操作で変更する文字を選択します。
- ・ ジョイスティックで新しい文字を選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

### (4) プリセット ID のキャンセル

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CANCEL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとプリセット ID がキャンセルされます。

### (5) プリセット ID の表示位置設定

- ・ ジョイスティックの上下操作で「POS1」を選択し、「CAM SETUP」釦を押します。
- ・ ジョイスティックでプリセット ID の文字枠を移動し、「CAM SETUP」釦を押して表示位置を確定します。

### (6) プリセット設定メニューに戻る

- ・ ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとプリセット設定メニューに戻ります。

## ④ 停止時間設定 (DWELL TIME)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で秒数を決定します。  
停止時間設定範囲 : 1~255 秒
- ・ オートパンのグループに組み入れることのできるプリセット番号が 1~16 であるため、停止時間の設定できるプリセット番号も 1~16 になります。

## ⑤ 回転速度の設定 (SPEED)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「SPEED」を選択し、左右操作で回転速度を決定します。  
回転速度設定範囲 : 1~120 度/秒

## ⑥ プリセットデータの削除 (CLEAR PRESET)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLR PRESET」を選択し、左右操作で「ABOVE NUM」または「ALL」を選択します。  
ABOVE NUM : 選択したプリセット番号のデータだけを削除します。  
ALL : すべてのプリセット番号のデータを削除します。

## 11-3-4. ツアー機能の設定 (TOURS)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「TOURS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



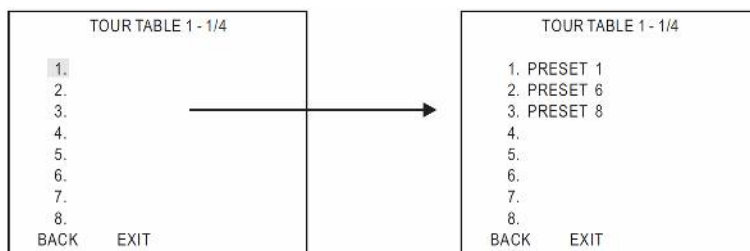
### ① ツアー番号の選択 (NUMBER)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「NUMBER」を選択、左右操作で 1 または 2 を選択します。

### ② ツアーの編集 (EDIT TOUR)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT TOUR」を選択し、「CAM SETUP」釦を押してツアー編集画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で数字を選択します。カーソルが最後の行にある時、さらにジョイスティックを下に向けると次のページに移ります。1つのテーブルには 32 のプリセットが登録できます。
- ・ ジョイスティックの左右操作でプリセット番号を選択します。
- ・ ツアーに必要なプリセット番号をすべて登録したら「CAM SETUP」釦を押して確定します。

- ・ ジョイスティックで「BACK」を選択し「CAM SETUP」釦を押すとツアー設定メニュー「TOURS」に戻ります。また「EXIT」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと設定画面から抜け出します。



### ③ ツアーの削除 (CLEAR ABOVE NUMBER)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLEAR ABOVE NUMBER」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと、「NUMBER」で選択されたツアーのデータが削除されます。

### ④ 停止時間の設定 (DWELL TIME)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で秒数を決定します。

停止時間設定範囲 : 1~255 秒

- ・ 自己復帰モード「SELF RETURN MODE」またはオートパンモード「AUTO MODE」にツアーが設定されている場合、オートパンの停止時間はツアーで設定した停止時間になります。

### ⑤ 回転速度の設定 (SPEED)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「SPEED」を選択し、左右操作で回転速度を決定します。

回転速度設定範囲 : 1~120 度/秒

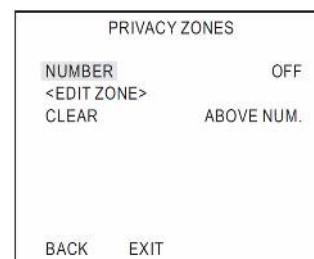
- ・ 自己復帰モード「SELF RETURN MODE」またはオートパンモード「AUTO MODE」にツアーが設定されている場合、オートパンの回転速度はツアーで設定した回転速度になります。

## 11-3-5. プライバシーゾーンの設定 (PRIVACY ZONES)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PRIVACY ZONES」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

### ① プライバシーゾーン番号の設定 (NUMBER)

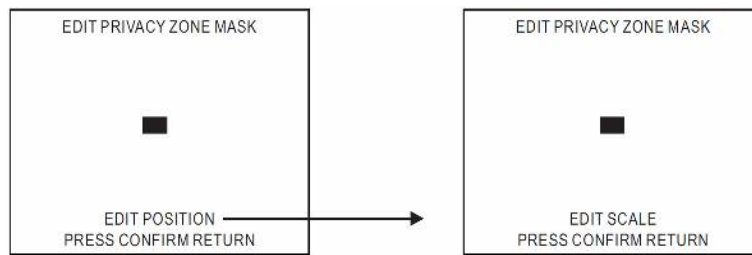
- ・ ジョイスティックの上下操作で「NUMBER」を選択、左右操作で1~4のゾーン番号を選択します。
- ・ 「OFF」を選択するとプライバシーゾーンの設定はできません。



### ② プライバシーゾーンの編集 (EDIT ZONE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT ZONE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して編集画面を開きます。また画面の中央にプライバシーゾーンのマスクが表示されます。
- ・ ジョイスティックの左右操作でプライバシーマスクの位置を調整します。
- ・ ズームとフォーカスを調整し「CAM SETUP」釦を押すとプライバシーゾーンの編集画面になります。
- ・ 「IRIS O」釦を押しジョイスティックを操作すると、マスク範囲がそれぞれの方向に広がります。
- ・ 「IRIS C」釦を押しジョイスティックを操作すると、マスク範囲がそれぞれの方向に狭まります。
- ・ 設定が終了したら「CAM SETUP」釦を押し、プライバシーゾーン設定画面「PRIVACY ZONES」に戻ります。





### ③ プライバシーゾーンの削除 (CLEAR)

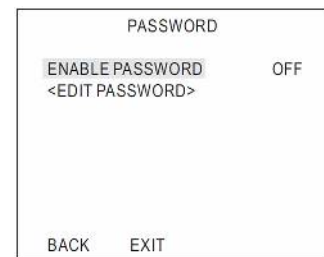
- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLEAR」を選択し、左右操作で「ABOVE NUM」または「ALL」を選択、「CAM SETUP」釦を押します。

ABOVE NUM : 選択したプライバシーゾーンのデータだけを削除します。

ALL : すべてのプライバシーゾーンのデータを削除します。

### 11-3-6. パスワード機能の設定 (PASSWORD)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PASSWORD」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



#### ① パスワードの設定 (ENABLE PASSWORD)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ENABLE PASSWORD」を選択し、左右操作で「ON」または「OFF」を選択します。

ON : パスワード機能が有効になります。

OFF : パスワード機能が無効になります。

#### ② パスワードの編集 (EDIT PASSWORD)

- ・ 設定できるパスワードは 4 桁の数字です。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT PASSWORD」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの左右操作で「0」～「9」のいずれかを選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。選択された数字は編集エリアに表示されます。
- ・ パスワードの設定が終了するまで、この手順を繰り返します。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとパスワード機能設定メニュー「PASSWORD」に戻ります。「CANCEL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと新たな設定はキャンセルされ、編集エリアの数字は「1111」にリセットされます。



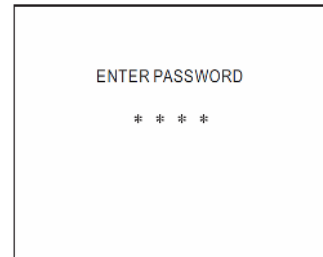
(注) パスワードを編集する際には、録画を停止してください。録画したままパスワードを編集すると、編集画面も同時に録画されます。

#### ③ パスワードの変更

- ・ パスワードの編集が終了した後でパスワードを変更する際には、もう一度パスワード編集画面でパスワードを編集します。
- ・ パスワード機能が ON に設定されている場合、設定メニューでまず前のパスワードを入力してからパスワードを変更してください。

#### ④ パスワードの入力

- ・パスワード機能を ON した後で「CAM SETUP」釦を押すと、画面にパスワード入力のフレームが表示されます。
- ・プロトコルが MLP1 の場合、ジョイスティックの上下操作で「0」～「9」を選択し「IRIS O」釦を押してください。選択した数字が「\*」になります。
- ・完了するまでこの手順を繰り返してください。パスワードが正しければ設定メニューが表示されます。
- ・プロトコルが MLP2 の場合、キーボードの「0」～「9」釦で入力し、「ENTER」釦で確定してください。パスワードが正しければ設定メニューが表示されます。



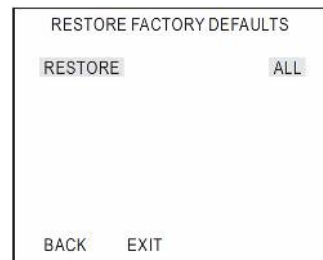
(注) パスワードが 10 秒以内に入力されなかった場合、あるいはパスワードが間違っていた場合には、画面に「Invalid password」と表示されます。パスワードの初期値は「1111」です。

#### 11-3-8. 初期化 (FACTORY INITIAL)

- ・スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「FACTORY INITIAL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

##### ① 全部の初期化 (ALL)

- ・ジョイスティックの上下操作で「RESTORE」を選択し、左右操作で「ALL」を選択します。
- ・「CAM SETUP」釦を押すと「Are you sure continue」の確認のメッセージが表示されます。
- ・もう一度「CAM SETUP」釦を押すとすべての設定が初期化されます。



##### ② カメラの初期化 (CAMERA)

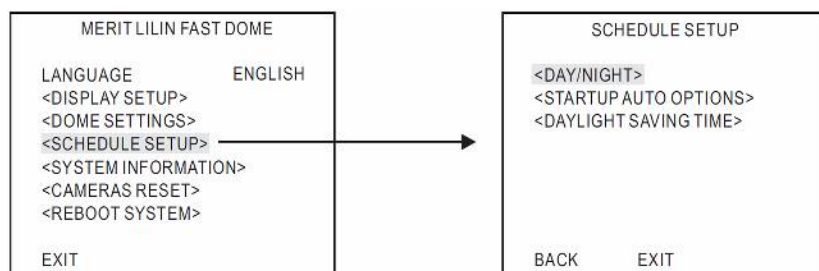
- ・ジョイスティックの上下操作で「RESTORE」を選択し、左右操作で「CAMERA」を選択します。
- ・「CAM SETUP」釦を押すと「Are you sure continue」の確認のメッセージが表示されます。
- ・もう一度「CAM SETUP」釦を押すとカメラの設定が初期化されます。



(注) 確認の「CAM SETUP」釦が 3 秒以内に押されない場合、このコマンドはキャンセルされます。

#### 11-4. スケジュール設定 (SCHEDULE SETUP)

- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「SCHEDULE SETUP」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



#### 11-4-1. DAY/NIGHT スケジュール設定 (DAY/NIGHT)

- ・スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「DAY/NIGHT」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ジョイスティックの上下操作で「DAY→NIGHT」を選択、「CAM SETUP」釦を押し、ジョイスティックの左右操作でDAYモードからNIGHTモードへの切り替え時間を設定します。

例 : 18:00→「CAM SETUP」→18:00→「CAM SETUP」→18:00

- ・「NIGHT→DAY」(NIGHTモードからDAYモードへの切り替え時間)も同様に設定します。

DAY/NIGHT SCHEDULE	
DAY->NIGHT	18:00
NIGHT->DAY	06:00
BACK	EXIT

#### 11-4-2. PTZ スケジュール設定 (STARTUP AUTO OPTIONS)

- ・スケジュールに従ってPTZの動作を自動化させることができます。
- ・スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「STARTUP AUTO OPTIONS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

##### ① 時間設定

- ・ジョイスティックの上下操作でアイテム1~8を選択、左右操作で時間設定、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

例 : 01:00 → 「CAM SETUP」釦 → 01:00 → 「CAM SETUP」釦 → 01:00

##### ② 動作設定

- ・アイテム1~8を選択し時間を設定すると動作設定になります。ジョイスティック左右操作で動作内容を選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

OFF → STOP → AUTO → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → 以後繰り返し

OFF : 何も動作しません。

STOP : 自動モードを停止します。

AUTO : オートスキャンモードを実行します。

SEQ : プリセットグループモードを実行します。

TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。

TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。

(注) PTZスケジュールの実行中に電源が切断された場合、電源復帰後、次のスケジュール設定時間までPTZスケジュールの実行は中断されます。

STARTUP AUTO OPTIONS	
1. 00:00	OFF
2. 00:00	OFF
3. 00:00	OFF
4. 00:00	OFF
5. 00:00	OFF
6. 00:00	OFF
7. 00:00	OFF
8. 00:00	OFF
BACK	EXIT

STARTUP AUTO OPTIONS	
1. 12:00	SEQ.
2. 13:00	STOP
3. 20:00	TOUR1
4. 09:00	STOP
5. 00:00	OFF
6. 00:00	OFF
7. 00:00	OFF
8. 00:00	OFF
BACK	EXIT

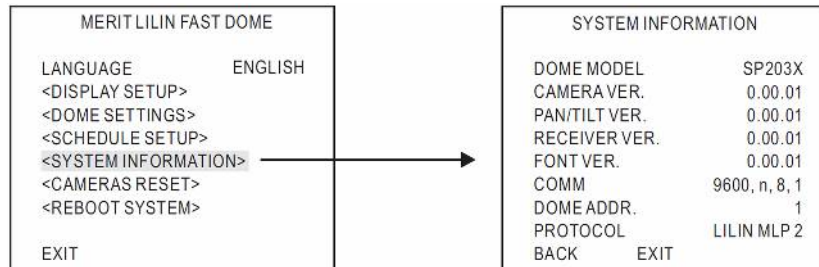
#### 11-4-3. 夏時間メニュー (DAYLIGHT SAVING TIME)

- ・スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「DAYLIGHT SAVING TIME」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・日本国内で使用する場合は、ジョイスティックの上下操作で「STARTUP」を選択し、左右操作で「OFF」を選択します。
- ・それ以降の設定は必要ありません。

DAYLIGHT SAVING TIME	
STARTUP	OFF
1. START	07/03/01 14:00
2. END	08/03/01 14:00
3. START	09/03/01 14:00
4. END	10/03/01 14:00
5. START	11/03/01 14:00
6. END	12/03/01 14:00
BACK	EXIT

## 11-5. システム情報の表示 (SYSTEM INFORMATION)

- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「SYSTEM INFORMATION」を選択、「CAM SETUP」鈕を押して情報表示画面を開きます。
- ・ジョイスティックの上下操作で「BACK」を選択し「CAM SETUP」鈕を押すと前の画面に戻り、「EXIT」を選択し「CAM SETUP」鈕を押すと設定メニューから抜け出します。



1. DOME MODEL : スピードドームの機種名
2. CAMERA VER : カメラのソフトのバージョン
3. PAN/TILT VER : パンチルトのバージョン
4. RECEIVER VER : レシーバのバージョン
5. FONT VER : フォントのバージョン
6. COMM : プロトコルのフォーマット
7. DOME ADDR : スピードドームのアドレス
8. PROTOCOL : プロトコルのバージョン

## 11-6. カメラのリセット (CAMERA RESET)

- ・カメラの設定を初期化させるため、カメラモジュールをリセットします。
- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「CAMERA RESET」を選択、「CAM SETUP」鈕を押してカメラをリセットします。
- ・「ESC」鈕を押すか、ジョイスティックで「EXIT」を選択し「CAM SETUP」鈕を押すと設定メニューから抜け出します。
- ・数字鈕で「9」、「0」、「1」、「5」と入力し「CLR」鈕を押すことにより、同様にカメラモジュールをリセットすることもできます。(MLP2のみ)

## 11-7. システムの再起動 (REBOOT SYSTEM)

- ・設定と動作具合を初期化させるため、スピードドームを再起動します。
- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「REBOOT SYSTEM」を選択、「CAM SETUP」鈕を押してカメラをリセットします。
- ・「ESC」鈕を押すか、ジョイスティックで「EXIT」を選択し「CAM SETUP」鈕を押すと設定メニューから抜け出します。
- ・数字鈕で「9」、「0」、「1」、「3」と入力し「CLR」鈕を押すことにより、同様にスピードドームを再起動させることもできます。(MLP2のみ)

## 12. 機器仕様

型名		SP-3038N	SP-3128N
一般項目	仕様	屋内	
	映像方式	NTSC	
	撮像素子	Sony 1/4 型 Super HAD CCD	
	画素数	768(H) x 494(V)	
	走査方式	2:1 インタレース	
	同期方式	内部同期	
	映像出力	コンポジット 1.0V <sub>p-p</sub> /75Ω BNC	
	水平解像度	カラー時 : 540TV 本、白黒時 : 600TV 本	
	S/N比	50dB 以上(AGC オフ)	
	最低被写体照度	カラー時 : 0.5Lux(F1.9) 白黒時 : 0.1Lux(F1.9)	カラー時 : 0.3Lux(F1.6) 白黒時 : 0.06Lux(F1.6)
	電源	AC90V ~ AC264V	
	消費電力	8.5W	
	使用周囲温度	-10°C ~ +50°C	
	使用周囲湿度	0%~90%(結露なきこと)	
	外形寸法	164(H) x 135φ mm	
質量	1.05kg		
旋回台機能	水平回転	360 度連続	
	水平モード	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション	
	水平回転スピード	マニュアル時 : 0.5~90 度/秒(8 段階)、プリセット時 : 1~120 度/秒	
	垂直回転	0 ~ 90 度	
	垂直モード	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション	
垂直回転スピード	マニュアル時 : 0.5~90 度/秒(8 段階)、プリセット時 : 1~120 度/秒		
レンズ	ズーム比	光学 2.6 倍	光学 12 倍
	焦点距離	2.8mm ~ 7.3mm	3.8mm ~ 45.6mm
	最小口径比	1:1.9(Wide) ~ 3.1(Tele)	1:1.6(Wide) ~ 2.7(Tele)
	最低被写体距離	0.6m(Tele)	1m(Tele)
	アイリス範囲	F1.9 ~ F200	F1.6 ~ F360
	画角	水平 : 28.7 ~ 73.4° 垂直 : 21.6 ~ 54.7°	水平 : 4.49 ~ 52.8° 垂直 : 3.40 ~ 39.7°
	ズームスピード	8 段階、Tele→Wide 3.0 秒	15 段階、Tele→Wide 6.0 秒
	フォーカススピード	-	15 段階、Far→Near 3.0 秒
	オートフォーカス	オート	オート/ワンプッシュ
	アイリス	ALC	ALC/マニュアル
主な機能	制御インターフェイス	RS-485 (半二重)	
	制御機能	パン、チルト、ズーム、フォーカス(SP-3128 のみ)、 アイリス、128 プリセット、ホームポジション	
	文字表示	オン/オフ (プリセット ID : 16 英数字、 ズーム比、日付・時刻、パンチルトアングル)	
	Day & Night	Day(カラー)Night(白黒) / オート / スケジュール	
	パスワードロック	アドバンス設定、プリセット設定、プライバシーゾーン設定、イニシャライズ	
	電子シャッター	オート/マニュアル選択(1/60 ~ 1/100,000 秒)	
	逆光補正	オン/オフ	
	ホワイトバランス	ATW / MWB	
	AGC	0 ~ 36dB 選択可	
	オートパンモード	オフ / オート / プリセットグループ / ツアー	
	プライバシーゾーン	オン/オフ (最大 4 箇所)	
	ミラー反転	オン/オフ	
	スケジュール設定	Day & Night / オートパン / 夏時間	

**MERIT<sup>®</sup>**

有限会社 メリット

本 社           〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5-6-17  
電話 & ファックス : 044-986-9088

埼玉営業所       〒351-0115 埼玉県和光市新倉 1-28-12  
電話 : 090-6527-6624

URL : <http://www.meritcctv.com>       E-mail : [info@meritcctv.com](mailto:info@meritcctv.com)

2012.4.1